

第五十一回帝國議會
衆議院

輸出生絲檢查法案(政府提出) 委員會會議錄(速) 第四回

會議

大正十五年二月二十七日(土曜日)午後
一時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 折原已一郎君

理事 村上 國吉君

理事 志賀和多利君

理事 畔田 明君

飯塚春太郎君 菅村 太事君

平沼 亮三君 加藤十四郎君

横山勝太郎君 深井 功君

加藤 六藏君 關矢 孫一君

若尾幾太郎君 川口 義久君

加藤 知正君 高橋熊次郎君

隅田 豊吉君 山内 範造君

小島 善作君 志村清右衛門君

丹下茂十郎君 小野 寅吉君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 早速 整爾君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 山川 端夫君

農林政務次官 小山 松壽君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林書記官 長瀬 貞一君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

農林技師 芳賀權四郎君

農林書記官 膳 桂之助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

輸出生絲檢查法案(政府提出)

○折原委員長 ソレデハ開會致シマス、丹下君ノ質問順ニナツテ居リマスガ、昨日ノ法制局長官ノ御答辯ニ對シテ、簡單ニ加藤十四郎君カラ御尋シタイト云フコトデアリマスカラ、一寸加藤君ノ發言ヲ許シマスカラ御承知ヲ願ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○加藤(十)委員 昨日生絲ノ検査料ヲ徵收スルコトハ憲法違反カノ如キ御意見ヲ述ベラレタ御方ガアリマシテ、ソレニ付テ法制局長官ハ成程學者ノ中ニハサウ云フ説ヲ爲ス者モアルケレドモ、併シ自分ノ考デハサウデハナイ、手數料ヲ課スルノハ決シテ憲法違反ニアラズ、斯ウ信ズル、信ズルト言ハレタダケデアツテ、斷ジテソレニ相違ナイト迄ニハツキリ申サレナカッタノヲ私ハ遺憾ニ思ヒマスノデ、茲ニ質問致シマス、スベテ法文ヲ解スルニハ、或ハ文意的、法理的、歴史的、色々ノ方面カラ解釋ガ出來マス、併ナガラ一番正解ハ矢張經ヲ以テ經ヲ解スルト云フ如ク、法ハ法ヲ以テ之ヲ解スルコトデアアル、例ヘバ孔子ノ春秋ハ左氏傳アリ、公羊傳アリ、穀梁傳アリ、ケレドモソレハ其人達ノ面々ノ解釋デアアル、此憲法ニ於テモ亦其通リデアリマス、憲法ニハ大權事項ハ大

權事項トシテノ特別ノ條文ガアリ、又立法事項ハ立法事項トシテ一々明ニ規定シテアリマス、ソレデ立法事項ニ漏レタルモノハ立法事項デナイコトハ明カデアアル、然ラバ憲法上ノ立法事項ハ何デアアルカト云ヘバ、第十四條、十八條、二十條、二十二條、二十三條、二十五條、二十六條、二十七條、二十九條、三十五條、五十一條、五十七條、五十八條、五十九條、六十條、六十一條、七十二條、是ダケチヤント明ニ規定シテアリマスカラ、ソレ以外ハ必シモ法律ヲ以テ規定スルヲ要セズ、命令ヲ以テ規定スルモ差支ナイト云フコトハ明カデアリマス、然ラバ此立法事項ノ中ニ手數料ト云フモノハ這入ツテ居ルカト云フト、ソナ事ハ條文ニモナケレバ、ソナ言葉モ一ツモ見受ケマセヌ、サウスルト又他ノ一面ニ於テハ日本ノ法規ナリ或ハ海外ノ學者ノ中デハ、手數料ト租稅ト云フモノハ同ジモノデアアルカラト云フヤウナ事ヲ論ジタ者ハ、私ノ寡聞ナル之ヲ覺エマセヌ、サウ云フヤウナ事ハ私ハ理窟ガ分ラヌヤウニ思ヒマス、サウ云フ事ヲ言ヘルモノデハナカラウト思フ、サウシテ見ルト六十二條ノ但書ニ、「報償ニ屬スル行政上ノ手數料及其ノ他ノ收納金ハ前項ノ限ニ在ラス」

トアル以上ハ、検査手數料ハ憲法違反ニアラザルコトハモウ明カデアアル、又立法事項トシテモ斯ウ云フ風ナ手數料ト云フモノニ付テノ明文ハ一向ナイノデアリマスカラ、立法事項ニ漏レタモノハ矢張命令ヲ以テ規定シテ宜シイト云フコトハ明カデアリマセウ、デアアルカラ是ハ唯學者ノ考トカ、或ハ自分ノ解釋トカ云フヤウナ事ハ措イテ、憲法ノ條項其モノガ炳トシテ之ヲ明ニシテ居ル、デアアルカラ手數料ハ租稅ト同視スベキモノデアアル、租稅ハ立法事項デアアル、ソレ故ニ手數料モ立法事項デアアル、斯ウ云フ議論ハ論理上誤ッタモノデアルト思フ、デアアルカラ此検査手數料ヲ取ルコトハ決シテ憲法違反ニアラズト云フコトハ明白デアアル、ソレハ面々ノ臆測ヤ一學者ノ解釋デスベキモノデナイ、憲法ノ立法事項トシテノ條文ガ、今申上ゲタ所ノ簡條ガ明カニシテ居ルト明快ナル確答ヲサレタナラバ、ソレデ澤山デアラウト思ヒマス、ソレデナケレバ、若シ検査料ガ憲法違反デアルトスルナラバ、ナニモコンナ委員會ナドヲ開ク必要ハナイ、先決問題デアアル、デアアルカラ其點ヲ私ハ尙ホ念ノ爲ニ御答ヲ煩シタイト思ヒマス

○山川政府委員 私ガ昨日申上ゲマシタ事ニ付テ、或ハ申上ゲ様ガ足りナカッ

タカノカ、御疑念ガアリマシタカラ更ニ申上ゲマス、私ガ申上ゲマシタノハ生絲検査ニ依リマシテ手数料ヲ取ル、其手数料ハ何カト云フト、報償ノ性質ヲ有スル行政上ノ手数料デアアル、租税トハ違フノデアアル、ソレハ憲法ノ第六十二條ノ第二項ニ明ニ書イテアル、法律ニ依ラナクトモ宜シイ、デアアルカラ命令ヲ以テ之ヲ徵收スルコトハ少シモ差支ナイ、憲法違反デモ何デモナイ、ソレデ從來ノ政府ガ取ッテ居ッテ解釋モサウ云フ解釋デ進ンデ來テ居ル、サウ云フ趣意ヲ申上ゲタ積リデアリマス、少シモンレニ付テ疑ヲ持ッテ居リマセヌ、唯昨日畔田君ノ御話ハ、其元ノ検査ヲ法律デ強制スレバ、矢張手数料モ法律デ取ラネバナラヌデヤナイカト云フ御議論ガアリマシタカラ、サウ云フ事ハ學者ノ中ニハサウ云フ事ヲ唱ヘテ居ル人モ居ルガ、私ハサウハ信ジナイ、昨日申上ゲタ通り検査ヲ強制スルト云フコトニ依テ其手数料ノ事ヲ必ズ法律ニ依ラネバナラヌト云フ根據ハ、私ハ見出スコトガ出來ナイノデアアル、併シサウ云フ事ヲ議論スル學者ハ、六十二條ノ第二項カラサウ云フ風ナ事ヲ論ズル人モ居リマスケレドモ、昨日モ申上ゲマシタ通り、若シ検査ヲ強制スルカラ手数料ヲ法律ニ依テヤラナケレバナラヌト云ヘバ、法律デ強制シテモ勅令デ強制シテモ同ジコトニナル、強制ト云フ上カラ言ヘバ……、サウスレバ假

ニ勅令デ強制シテモソレニ關スル手数料ト云フモノハアベコベニ法律デ取ラネバナラヌト云フ結論ニナリハシナイカ、サウナリマスト憲法第六十二條第二項ノ報償ニ屬スル行政上ノ手数料ハ此ノ限ニ在ラズ、法律デ規定シナクトモ宜シイト云フ條項ニ直接ブツカル事ニナリハシナイカ、アベコベニブツカル事ニナリハシナイカ、六十二條ノ第二項ハ報償ニ屬スル手数料ト何等ノ區別ガナイ、是モ昨日申上ゲタ法律デ定メナクテモ宜シイ、ソレデ其或モノハ法律デ定メナクチャイカヌト云フ、其理由ヲ寧ロ私ハ發見スルコトガ出來ヌ、ソレデ政府ノ取ッテ居ル解釋ハ、今申上ゲマシタヤウニ此行政上ノ手数料ハ法律ニ定メル必要ハ少シモナイ、命令ヲ以テ定メ得ルコトハ憲法ノ明文上明カデアアル、サウ解釋シテ居ル、只昨日畔田君ノ御話ガアリマシタシ、今日ノ新聞ニモアリマシタガ、大分誤解ヲ起シテ居ルヤウニ思ヒマスカラ、一言附加ヘテ申上ゲマス、昨日憲法義解ノ解釋ノコトニ付キマシテ、一寸畔田君ノ御話ガアリマシタケレドモ、是ハ餘リニ明カデアリマスカラ、私ハ特ニソレニ言及シナカッタ、所ガドウモ六十二條ノ解釋ニ付テ昨日御讀ミニナッタ所ノ此義解ノ趣意トアベコベニ、矢張法律デ検査ヲ強制シテ其結果手数料ヲ取ルナラバ、法律ニ據ラネバナラヌト憲法義解ニ書イテアルヤウナ風ニ御取リニナッテ居

ルノカ、是ハ本當デアアルカドウカ知リマセヌケレドモ、サウ云フヤウナ風ニモ見エマスカラ、ソレナラバ全然話ガ違フ、憲法義解ニアリマスノハ今讀ンデ見マスル通り、昨日モ御讀ミニナリマシタ通り「報償ニ屬スル行政上ノ手数料及其ノ他ノ收納金トハ各個人ノ要求ニ由リ又ハ各個人ノ利益ヲ與フル爲メ政府ノ事業又ハ事務ニ對シ上納セシムル者ニシテ普通ノ義務トシテ賦課スル所ノ租税ト其性質ヲ殊ニスル者ヲ謂フ、即鐵道切符料倉庫料學校授業料ノ類ハ行政命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得ヘク必シモ法律ニ依ルヘキノ限ニ在ラサル者トス」ト、之ヲ今御話ミニナリマシタガ、昨日申上ゲマシタコトトソツクリ同ジデアリマス、詰リ手数料ト云フノハ或個人ノ請求ニ依リ、或個人ノ利益ノ爲メ、政府ガ或ル設備ヲシテ、其設備ヲ個人ガ利用スルカラ、其費用ヲ其個人カラ取ラセルノデアアル、租税ノヤウニ或ハ家屋ヲ所有シ、或ハ土地ヲ所有シ、其事實ニ依テ一定ノ金ヲ取上ゲルト云フノトハ全然性質ガ違フ、例ヘテ言ヘバ學校ヲ造ル、子供ガ學校ニ這入ル、サウスルト其費用トシテ報償ノ意味ニ於テ授業料ヲ費用ノ一部トシテ拂フ、ソレカラ此場合ニ就テ言ヒマスト、政府ガ生絲ノ検査所ヲ造ッテ、生絲ヲ検査スル、サウスルト生絲ノ價格、價值ヲ政府ガ保障シ政府ガ確認スル、隨テ生絲ニ値打ガ付ク、人ガ信用シテ

取引ガ出來ル、ソレデ經費ガ掛カルカラ、検査ヲ受ケル者ハ其費用ノ一部トシテ矢張手数料トシテ金ヲ拂フ、サウ云フ關係ニ於テハ此憲法義解ニ於テモ、是ハ租税トハ全然違フ、憲法ノ第六十二條第二項ノ規定モ命令ヲ以テ此事ヲ定メテ宜イ、必スシモ法律ニ依ル必要ハナイ、ソレデ私ノ今申上ゲタコトハ少シモ疑問ハナイト實ハ思ッテ居ルノデアリマス、ドウカサウ云フ趣意デアリマスカラ……、尙ホ御質問ガアリマスレバ承リマス

○加藤(十)委員 大體ノ趣意ハ私能ク分ッテ居リマスケレドモ、此行政上ノ手数料ヲ日本語デ書クト、其處ニ性モ數モ分ラヌ「シングル」デアアルカ「ブルラ」デアアルカ分リマセヌケレドモ、此行政上ノ手数料ナル語ハ、論理的ニ言ヘバ所謂正定周義「ユニバトサル・アッフエメチーヴ」何ノ誤解ガ無イ筈デアアル、貴方ノ言ハレル通り、第六十二條ノ第二項「報償ニ屬スル行政上ノ手数料及其ノ他ノ收納金ハ前項ノ限ニ在ラス」デアリマスカラ、此但書ニ依テ検査料ヲ取ルノハ何等ノ不都合ハナイガ、ソレガ不都合デアルト云フ說ヲ爲ス學者ガアル、其學者ノ說ヲマルデ無價值ノヤウニ一蹴サレルコトヲ私ハ遺憾トスルノデアアル、學者ノ中ニ斯ウ云フコトヲ言フ人モアル、アルケレドモサウ云フコトヲ云フノハ根柢ガ間違ッテ居ル、

憲法ヲ曲解シタルモノデアルト一蹴シテシマハズ、此疑義ヲ明確ニサレルトヲ希望シタノデアリマス、其處ヲ遺憾ニ思ヒマシタカラ御尋致シタノデ、能ク分リマシタ

○折原委員長 ソレデハ通告順ニ依リマシテ——丹下茂十郎君

○丹下委員 私ハ曩ニ質問通告致シテ居ッタニモ拘ラズ、昨日已ムナキ事情ノ爲ニ缺席致シマシタ故ニ、私ノ御尋シヤウトスル所ハ他ノ委員諸君ヨリ御尋ニナツタカモ知レマセヌガ、ソレニ對シテハソレ——御答辯モアッタラウト思ヒマスケレドモ、隨テ重複ノ嫌ヒガアルカモ知レアセヌガ、私ハ未ダ委員會ノ速記録ヲ拜見致シマセヌカラ、御尋ヲ致シマス成ベクナラバ簡單デ宜シウゴザイマスカラ、重複ノ事モ御答ヲ願ヒタイ順序ガ少シ錯綜シテ居リマスケレドモ一體從來此正量ノ検査ニ付キマシテハ任意検査ガ行ハレマシタ時代ニハ、之ガ獎勵ノ意味デ手數料ハ徵收シナカッタ、此度強制検査ヲ行フコトニ付テ手數料ヲ取ルト云フコトハ、理窟ハドチラニデモ付キマセウガ、併シ正量検査ト云フコトニ付テ、大體ニ於テハ是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマセウケレドモ中ニハ相當之ニ異論モアルヤウナ時代デアリマスカラ、過度期トシテ矢張當分ノ間ハ検査手數料ヲ取ラナイト云フコトガ、獎勵ノ意味ニ於テモ適當デアルマイカト思フ、詰リ任意検査

ニ於テハ取ラナイ強制検査ニナツテ取ルト云フコトハ、寧ろ矛盾デハナイカ、私ハ此點ニ付テ先日質問ガアッタカモ知レマセヌガ、一言御尋ヲ致シマス

○小山政府委員 丹下君カラ御尋ノ點ハ、昨日同様ナ御質問ガアリマシタ、ソレ——御答ヲ申上ゲテ置イタノデアリマスガ、尙ホ御尋デアリマスカラ簡單ニ此趣旨ヲ明ニ申上ゲテ置キマス、強制検査ヲスルノデアルカラ検査料ヲ取ラヌヤウニシタラドウダ、斯ウ云フ事デアリマスルガ、只今ノ現行法ニ検査料ヲ取ラナイト云フコトヲ規定シテアリマスノハ、是ハ未ダ我國ノ生絲輸出業ノ極メテ幼稚ナル時代ニ、其品質ノ向上改善ニ導キタイト云フ政府ノ方針ニ依リマシテ、成ベク其検査ヲ受ケシメタイト云フ見地カラ立法セラレテ居ッタノデアリマス、漸ク其時分ニハ十萬相位ノ微々タルモノデアリマシタガ、御承知ノ如ク既ニ今日デハ其七倍八倍ニモ達シヤウト云フガ如キ、我國貿易上ノ——大正十四年度ニ於テハ八億八千萬圓ニモ達スルト云フ進展ヲ見ルニ至リマシタ、同時ニ此事ハ日米兩國間ノ營業者ノ長イ希望デアリマシタ我國生絲ノ約九割モ消費サレルト云フ米國側ノ長キ要望デモアリマス、我國ノ營業者モ米國ニ參リ、米國ノ營業者モ亦我國ニ再ビ重ネテ參リタト云フヤウナ關係ト、モウ一ツハ昨日農務局長ヨリ其大體ノ經過ノ御説明モアリマシ

タガ、現在五百萬圓ノ巨額ヲ投ジマシテ横濱ニ新築ヲ致シ、將ニ其工成ラント致シテ居ル所ノ、アノ生絲關係ノ建物ノ起リガ、營業者ノ要望ト、之ニ依リ政府ノ考ト屢交渉ヲ重ネマシテ、其歴史上ノ關係カラ考ヘマシテ、何卒我國ノ生絲ノ品位、向上、改善ノ上ニ其設備ヲ改善シテ貰ヒタイ、而シテ之ニ要スル經費ハ偶第二回帝國會社ノ其利潤ノ中カラ幾分ヲ支辨スルト云フ話モアツテ、當局ト致シマシテハ此點ニ付テ前ニ我國ノ生絲ノ將來ニ付テノ對策トシテ、正量取引ヲシタコトト云フコトヲ考ヘテ居ッタノデアリマスガ、何分財政上ノ關係カラ此急務ト認メマスル所ノ實現ヲ遲延致シテ居ッタト云フコトハ、遺憾ト致シテ居ッタノデアリマスガ、右申上ゲルヤウナ種々ノ經過ヲ經マシテ、大藏當局ニ交渉致シマシタトキニ、其財源ニ付テ屢交渉ヲ重ネマシタ中ニ、豫テ營業者ノ諒解ヲ經テ居リマスル所ノ生絲輸出検査ニ付テハ、其手數料ヲ徵スルト云フコトニナツテ居リマスノデ、之ヲ財源トシ財政上ノ見地カラ考ヘマシテ、今日此案ヲ提出シテ、御審議ヲ乞ヒマスルヤウナ次第ニナツタノデアリマス、之ヲ要スルニ右ノ事情ガ歴史的ニナツテ參リテ居リマスカラ、隨テ此手數料ヲ徵收スルト云フコトニ於テ、今日デハ何レニモ何等ノ支障ハナイ、殊ニ只今申上ゲルヤウニアノ建築ヲスルニ付テノ歴史上ノ關係カラ言フテモ、是

ハ右料ニシテ而シテ歲入ノ一部ニスル、斯ウ云フコトニナリマスノデ、現行法ニハ徵セズトアリマスケレドモ、以上申上ゲル所ノ趣旨ニ依テ徵スルコトニ致シタノデゴザイマス

○丹下委員 只今次官ノ御答ニ依リマスルト、品質改善向上ヲ圖ル爲ニ、從來成ベク検査ヲ受ケシメル意味ニ於テ手數料ヲ取ラナカッタ、然ルニ段々數量ガ増加シテ來テ、日米營業者ノ間ノ多年ノ懸案ノデアッタト云フ意味ノ御答辯デアリマシテ要スルニ正量取引ガ必要デアルト云フコトノ御答辯デアリマス、検査ヲ行フ——正量取引ノ検査ヲ行フニ付テスラ、今相當ニ物議モアルヤウデアリマス、就中手數料ヲ徵スルコトニ付テハ今ノ次官ノ御答辯ニ依ルト、營業者間ノ諒解ヲ得テ居ルヤウナ種々ノ經過ヲ經マシテ、大藏當局ニ交渉致シマシタトキニ、其財源ニ付テ屢交渉ヲ重ネマシタ中ニ、豫テ營業者ノ諒解ヲ經テ居リマスル所ノ生絲輸出検査ニ付テハ、其手數料ヲ徵スルト云フコトニナツテ居リマスノデ、之ヲ財源トシ財政上ノ見地カラ考ヘマシテ、今日此案ヲ提出シテ、御審議ヲ乞ヒマスルヤウナ次第ニナツタノデアリマス、之ヲ要スルニ右ノ事情ガ歴史的ニナツテ參リテ居リマスカラ、隨テ此手數料ヲ徵收スルト云フコトニ於テ、今日デハ何レニモ何等ノ支障ハナイ、殊ニ只今申上ゲルヤウニアノ建築ヲスルニ付テノ歴史上ノ關係カラ言フテモ、是

○小山政府委員 前段御答致シマシタノニ、誤解ガアルト甚ダ遺憾デアリマスカラ明カニ致シテ置キマスガ、前段

申上ゲマシタノハ、我國ノ生絲ガ輸出
生絲ノマダ幼稚ナル時代デアアルガ爲
ニ、其検査料ヲ徴セズシテ、斯業ノ發達
ニ資スルコトニ致スト云フ精神デ申上
ゲタノデアリマス、誤解ノナイヤウニ
願ヒマス、只今ノ御尋デアリマスガ、是
ハ今日迄ノ大體ノ經過ヲ昨日政府委員
其他ノ委員ヨリ説明申上ゲマシタ所
デ、御列席ノ諸君ハ一通リ御諒解ヲ願
タト存ジマスガ、尙ホ重ネルヤウデア
リマスガ、此事ノ衝ニ當リマシタ政府
委員カラ御答申シタ方ガ其要ヲ盡スニ
便宜デアラウト思ヒマスカラ、説明致
スコトニ致シマスガ、今日ノ生絲業者
——全國ノ生絲業者ガ此手數料徴收ニ
反對ヲ致シテ居ルト云フ御話デアリマ
スガ、私ハ左様ニ考ヘマセヌ、全國生絲
業者ハ全部之ニ反對ヲ致シテ居ルト
ハ、從來ノ歷史上左様ニ思ヒマセヌ、成

致シテ居ッテ、速ニ其實現ヲシタイ、併
ナガラ其検査ヲスル所ノ建物ガ尙ホ工
程中デアッテ、何レ是ガ完成ノ時ニハ其
御要求ニ應ズルコトニシタイト、公ケ
ナル所謂國際信義的ノ聲明迄モアッ
ノデアリマスカラ、或ハ生絲業者ノ中
デ今ニナッテ喜バナイ者ガ私ハナイト
思ヒマスケレドモ、或ハアルト致シマ
シテモ、其當時ノ關係カラ申シマスレ
バ、以上ノ場合ニ申上ゲタヤウニ、私ハ
生絲業者ハ之ニ對シテ反對シテ居ルト
ハ信ジマセヌ、尙ホ昨日大體ヲ申上ゲ
マシタ點デアアルデアリマスガ、丹下
君ガ重テ御尋デアリマスカラ、其點ヲ
明カニシテ置キマスルヤウニ、他ノ政府
委員カラ申上ゲテモ宜ウゴザイマス、
其關係ヲ申上ゲマスレバ明瞭ニナルト
思ヒマス

○丹下委員 私ノ御尋シタコトヲ小山
次官ハ却テ誤解サレテ居ルヤウニ思ヒ
マス、私ノ御尋シタノハ正量取引ニ付
ハ今一部ニハ異論ガアルト云フコトヲ
申シマシタガ、是ハ私ガ先ニ申上ゲマ
シタノハ検査其ノモノデ全部ノ營業者
ガ反對シテ居ルト申上ゲタノデヤナイ
ノデアリマス、私ノ申上ゲタノハ正量
検査ノ爲ニ手數料ヲ徴スルト云フコト
ニ付テハ、輸出業者ハ勿論殆ド全國ノ
製絲業者ガ反對ヲ致シテ居ル、斯ウ云
フコトヲ申上ゲタノデアリマス、隨テ
今、日米間ノ代表者ガ國際信義ニ基イテ
聲明致シテ居ル云々ト云フコトハ、要

スルニ正量検査ノ實行ニアルノデアリ
マシテ、手數料ヲ徴スルト云フコトニ
付テノサウ云フ問題デハナイ、所謂國
際信義トカ聲明トカ云フヤウナ問題ニ
ハ關係無イコトダラウト私ハ思フ、唯
私ノ只今御尋シタノハ、詰リ手數料ヲ
徴スルト云フコトニ付テ非常ニ營業者
ノ反對ガアルガ、ソレヲ政府ハドウ云
フヤウニ見テ居ルカ、斯ウ云フコトヲ
御尋シタノデアリマス

○小山政府委員 全國ノ製絲業者ガ手
數料ノ徴收ノコトニ反對アリトモ考ヘ
マセヌ、何故ナラバ、輸出業者、問屋、製
絲業者ガ屢御會合ニナリマシタ場合
ニ、前ニ申上ゲマシタヤウニ、此正量取
引ノ實施ヲ致ス機關ニ付テノ其細目御
協定ノ場合ニ、検査ハ有料トスル、其檢
査料ハ何人ガ負擔スルカト云フコトニ
付テハ、是ハ細則等デ定メルコトデア
リマスケレドモ、検査ガ有料デアルト
云フコトハ、其當時カラ十分ニ御諒解
ニナッテ御協議ニナッテ居ルコトデアリ
マスカラ、私ハ今日ソレニ反對アリト
ハ立案上ノ手續、今日マデノ交渉ノ顛
末カラ見テ考ヘマセヌ

○丹下委員 全國ノ營業者ニ反對アリ
トハ認メヌト云フ御話デアリマス、頗
ル政府トシテハ迂遠ナコトト思ヒマス
ガ、是以上論議ヲ重ネマシタ所デ詮方
ナイコトデアリマスカラ、次ノ問題ニ
移ラウト思ヒマス、手數料ヲ一俵ニ付
テ一圓、出張検査ニ付テハ一圓六十錢

ト云フコトニ、勅令案ノ未定稿ニ於テ
示サレテ居ルノデアリマス、此検査料
ノ基準ハ一體ドウ云フ所カラ割出シタ
ノデアリマセウカ、設備費ハ、是ハ別ト
致シマシテ、人件費、或ハ器具機械費、
需用費等、ソレ等ノ點ヲ考慮サレタモ
ノト思フノデアリマスガ、參考ノ爲ニ
検査料ヲ定メラレタ基準ヲ承リタイノ
デアリマス

○芳賀農林技師 御答ヲ致シマスル
ガ、此手數料ヲ生絲検査所ニ持込ムモ
ノニ對シテ一俵一圓トシ、出張検査ニ
對シテ一圓六十錢ト云フコトヲ見積リ
マシタノハ、最初政府ト致シマシテハ
生絲ノ検査ハ總テ生絲検査所ニ持込ム
モノ、左様ノ計畫ノ下ニ豫算ヲ組ンダ
ノデアリマスガ、要スルニ今度ノ正量
取引實施ノ爲ニ要スル費用ガ、所謂經
常費ガ、前年度トシマスト約三十萬
圓バカリニナリマス、其三十萬圓ノ經
費ノ財源ヲ手數料ニ求メル、斯ウ云フ
コトニナリマス、詰リ此生絲検査所デ
三十萬俵ノ検査ヲ一年ニヤルト云フ計
畫ノ下ニ出タノデアリマス、其經費ガ
三十萬圓ト云フコトニナレバ、隨テ一
俵ノ検査料ガ一圓ト云フコトヲ割出シ
タノデアリマス、ソレカラ出張検査ニ
對シテ一圓六十錢ト申シマスノハ、生
絲検査所ノ検査ハ其儘ヤッテモ、出張檢
査ニナリマスト云フト、生絲検査所ニ
執務シテ居ル人間ヲ請求ニ應ジテ派遣
スルト云フコトハ到底出來ナイノデア

ハ、從來ノ歷史上左様ニ思ヒマセヌ、成
程輸出商ノ一部ノ中ニハ、或ハ其自己
ノ利害關係等カラ見マシテ、之ヲ喜バ
ナイ者ガアルカモ知レマセヌ、併ナガ
ラ大體正量取引ヲ爲シ、而シテ我國ノ
生絲ノ品位ヲ向上スルト云フコトニ付
テハ、只今申上ゲル通り我ガ生絲業者
ガ代表者ヲ亞米利加ニ派遣シ、又亞米
利加カラハ絹業協會ノ代表者ガ二回迄
モ我が國ニ來ッテ、而シテ最後ニ之ヲ聲
明シテ、此諒解ヲ遂ゲテ、亞米利加ノ絹
業者ノ一日モ速ニ日本ノ生絲ノ正量檢
査ノ實施ニ至ラムコトヲ熱望シ、我が
國ノ代表者ハ其熱望ニ應ジ且ツ希望ヲ

○丹下委員 全國ノ營業者ニ反對アリ
トハ認メヌト云フ御話デアリマス、頗
ル政府トシテハ迂遠ナコトト思ヒマス
ガ、是以上論議ヲ重ネマシタ所デ詮方
ナイコトデアリマスカラ、次ノ問題ニ
移ラウト思ヒマス、手數料ヲ一俵ニ付
テ一圓、出張検査ニ付テハ一圓六十錢

ト云フコトニ、勅令案ノ未定稿ニ於テ
示サレテ居ルノデアリマス、此検査料
ノ基準ハ一體ドウ云フ所カラ割出シタ
ノデアリマセウカ、設備費ハ、是ハ別ト
致シマシテ、人件費、或ハ器具機械費、
需用費等、ソレ等ノ點ヲ考慮サレタモ
ノト思フノデアリマスガ、參考ノ爲ニ
検査料ヲ定メラレタ基準ヲ承リタイノ
デアリマス

○芳賀農林技師 御答ヲ致シマスル
ガ、此手數料ヲ生絲検査所ニ持込ムモ
ノニ對シテ一俵一圓トシ、出張検査ニ
對シテ一圓六十錢ト云フコトヲ見積リ
マシタノハ、最初政府ト致シマシテハ
生絲ノ検査ハ總テ生絲検査所ニ持込ム
モノ、左様ノ計畫ノ下ニ豫算ヲ組ンダ
ノデアリマスガ、要スルニ今度ノ正量
取引實施ノ爲ニ要スル費用ガ、所謂經
常費ガ、前年度トシマスト約三十萬
圓バカリニナリマス、其三十萬圓ノ經
費ノ財源ヲ手數料ニ求メル、斯ウ云フ
コトニナリマス、詰リ此生絲検査所デ
三十萬俵ノ検査ヲ一年ニヤルト云フ計
畫ノ下ニ出タノデアリマス、其經費ガ
三十萬圓ト云フコトニナレバ、隨テ一
俵ノ検査料ガ一圓ト云フコトヲ割出シ
タノデアリマス、ソレカラ出張検査ニ
對シテ一圓六十錢ト申シマスノハ、生
絲検査所ノ検査ハ其儘ヤッテモ、出張檢
査ニナリマスト云フト、生絲検査所ニ
執務シテ居ル人間ヲ請求ニ應ジテ派遣
スルト云フコトハ到底出來ナイノデア

リマス、其中ノ一部分位ハ出張サセル
コトガ出来マセウガ、大部分新ニ出張
検査ニ携ハル人間ヲ採用シテ置カネバ
ナラヌ、斯ウ云フコトニナリマス、ソレ
故ニ生絲検査所ニ持込ミマス検査料ヨ
リハ餘計ナ經費ガ要ルノデアリマス、
其經費ヲ割出シテ根據ハ、先ヅ輸出入
者ノ中ニモ大小色ミアリマスガ、ドン
ナニ小サナ僅カナ數量ヲ扱ッテ居ル輸
出商デアリマシテモ、一通リノ検査ノ
設備ハシナケレバナナリマセヌ、其設備
ヲ運用シテ検査スル場合ニハ、必要ナ
人間ダゲ——規定ノ人間ダゲハドウシ
テモ派遣セナケレバナナリマセヌ、故ニ
其最小限度ノ小サナ規模ノ輸出入商ニ對
シマシテ、設備ヲサセマス經費ガ——
設備費ガ丁度四千幾ラト云フコトニ
ナルノデアリマス、此設備ハ請求者ニ
於テ爲サシムル考デアリマスカラ、是
ハ政府ノ所謂生絲検査所ノ検査ノ費用
ニハ加算ハ致シテ居リマセヌガ、出張
員ノ俸給其他總テノ費用ハ、是ハ見テ
置イテ、其出張検査ニ要スル人員ハ、最
小設備ノモノニ對シテモ三十一人ヲ要
スルノデアリマス、サウシテ三十一人
ノ中デ下働キヲスルヤウナ手傳人、人
足様ノ者ハ、是ハ出張検査請求者ノ負
擔トシテ居リマス、併ナガラ最モ検査
上重キヲ置カナケレバナナリナイ量目ノ
秤量トカ、或ハ検査材料絲ノ拔取、或ハ
風袋ヲ秤ルト云フヤウナ重要ナル仕事
ニハ、總テ検査所カラ出張サセマシタ

人間ニヤラセルコトニナッテ居ルノデ
アリマス、其人間ガ丁度十一人ト云フ
コトニナリマス、ソレカラ検査請求人
ノ方カラ出サセマス、下働キノ者ハ二
十名、是ハ女ト男ヲ半々ニ使ヒマシテ
二十名ノ人間ヲ要スル、斯ウ云フコト
ニナリマス、尤モ此検査請求者ノ方ノ
負擔ニ屬スルモノハ無論加ヘテ居リマ
セヌガ、検査所カラ派遣致シマス十一
人ノ俸給其他ノ費用ガ、一俵ニ對シテ
六十錢餘計ニ掛カル斯ウ云フ計算ガ出
テ參ッタノデアリマス、詰リ検査所ヘ持
込ミマシタ検査ニ對シテハ、一俵一圓
デアルガ、出張検査ノ場合ニハ但シ六
十錢ヲ餘計徵サナケレバナラヌ、斯ウ
云フ計數ガ出テ參ッタノデアリマス
○丹下委員 只今ノ芳賀検査所長ヨリ
ノ御答辯ニ依リマスト、検査ニ要スル
費用全部ヲ検査要求者ヨリ徵收スル、
斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ
○芳賀農林技師 詰リ検査ニ要スル費
用デゴザイマス、全部検査手数料ニ
其財源ヲ求メル、斯ウ云フコトデアリ
マス
○隅田委員 議事ノ進行ニ付テ質問ヲ
御許シ願ヒマス
○折原委員長 隅田君
○隅田委員 只今同僚丹下君ノ検査手
數料ニ對スル當業者トノ諒解如何ト云
フ質問ニ對シマシテ、小山政務次官ニ
於カセラレマシテハ、過去ノ歴史的ニ
見ルト、此手數料ノ徵收ト云フコトニ

付テハ全國ノ製絲家ハ諒解シテ居ルノ
ダ、今日ニ於テ何等異議ノアルベキ筈
ハナイ、斯様ナ御答辯デアリマシタガ、
實ニ事實ヲ誣ユルモ甚シイモノト存ジ
マスルガ故ニ、已ムヲ得ズ本員ハ議事
ノ進行上此點ニ付テ政府當局ニ御尋
シナケレバナラヌ此點ニ付キマシテハ
本員ハ昨日當委員會ニ於キマシテ、最
後ノ質問ト致シマシテ、政府當局ニ御
尋ヲ致シタトキニ、農務局長ニ於テハ
大正十一年以後ノ經過ヲ縷々御答辯ニ
ナッタノデアリマス、然ルニ其當時私共
遺憾ナガラ參考資料ヲ持ッテ居リマセ
ヌ故ニ、委員會散會後ニ於テ色々調査
致シマシタ所、農務局長ノ御答辯ハ誤
レルノ甚シキモノガアルノデアリマ
ス、第一大正十一年一月農商務省ノ會
議室ニ於テ、絲價調査委員會ガ開カレ
タ際ニ、政府ノ諮問事項トシテ此正量
取引ノコトガ出タノデアリマス、併ナ
ガラ政府ノ御手許ノ筆記録ト云ヒマス
カ、會議録ト云ヒマスカ、蠶絲同業組合
中央會ニ於ケル第七回總會ノ議事録ニ
依リマスト、何等手數料ヲ當業者ノ負
擔ニスルト云フコトノ認定的速記録ハ
無イノデアリマス、又決定シタ點モナ
イノデアリマス、唯一委員今井君ヨリ
此事ニ付キマシテ斯様ナ事ヲ述ベテ居
リマス「或ハ検査ヲ有料ニスルカ今日
ノ如ク無料ニスルカト云フコトガ決シ
ナケレバ矢張豫算ニ計上スルコトニ於
テモ自ラ分リマセヌ、有料トスレバ法

律ヲ變ヘナケレバナラヌ、法律ガ變ヘ
ラレナイ中ハ豫算ニ計上スルコトガ出
來ナイト云フコトガ生ズルノデ但シ此
問題ハ財政上ノ都合ニ依テ或ハ今議會
ノ議ニ上ルコトハ覺東ナイト考ヘル」
ト斯ウアリマス、有料ニスルカ無料ニ
スルカト云フコトハ問題ニハナッテ居
ルガ、有料ニスルコトヲ認メタト云フ
事實ハ何等アリマセヌ、更ニ農務局長
ガ引用セラレマシタ、原生絲輸出ノ支
配人岡田源吉ノ言トシテ、大正十四年
五月八日ノ委員會ニ於テ「若シ此正量
取引ノ實施セラレルト云フ場合ニ於
テ、検査料運搬料其他ト當然製絲業者
乃至問屋ノ負擔ニセラレタイト云フコ
トヲ發言セラレタ」斯様ニ農務局長ハ
昨日御陳述ニナッタノデアリマス、併ナ
ガラ是モ私速記録ノ寫ヲ持ッテ居リマ
スガ、些トモサウ云フコトヲ岡田君ハ
言ッテ居リマセヌ、讀ムト長クナリマス
ガ、事實ヲ立證スル上ニ極メテ必要ト
存ジマス故ニ、岡田君ノ點ダケ拔萃シ
テ朗讀致シマス「岡田君、正量取引ヲ橫
濱限リトセバ問題ハ新シクナルカラ輸
出會ハ更ニ協議ノ要アリトシ芳賀君ノ
説明ヲ求メ、芳賀君、検査ハ一般ニ施行
定シ之ニ依テ殘餘ノ正量ヲ計算スル料
金ハ正量一圓六十錢、原量八十錢位ノ
見込、製絲家リ證明付ノ洋俵ニテ出荷
スルモノハ除外シテ宜カラウ」是等ノ點
ハ今日ノ施行細則ト變ッテ居リマスガ、

原君ノ意見ノ通りデ「正量取引ヲ實行スルトセバ横濱モ神戸モ同様ナリ」云々次ニ井上君、是ハ三井物産ノ横濱支店長デス「井上君、検査ノ爲メ全部ヲ検査所ニ搬入搬出スルハ其費用ノミニテモ一俵五十錢ヲ要スベク全ク無用ノ經費ナリ其邊何トカ便法無キカト質シ、芳賀君、其費用ハ荷主ノ負擔ニ歸スベキモノナランモ検査所ハ全部ヲ搬入シテ貫ハナケレバナラヌ」ソコデ加賀山君、是ハ蠶業試験所長ノ加賀山ラシ「加賀山君、結局新倉庫利用洋俵出荷ノ獎勵トハナルベキモ、差當リ一荷ニ付正量三俵四圓八十錢、原量七俵五圓六十錢、運搬費五圓、計十五圓四十錢ハ製絲家ノ負擔ヲ増ス譯ナリ、仍テ豫メ其邊ノ了解ヲ要スト述ベタルモ、何等纏ラズシテ保留セリ」兎ニ角輸出會ハ前ノ書面「輸出商側ニテハ何等名案ヲ見出ス能ハザルニ付委員會ニテ然ルベク立案アリタシ」云々ハ一應撤回シ、更ニ正量取引ヲ横濱ト神戸ダケニ限ルト云フ條件デ再ビ協議シ、何等カノ妥協案ヲ作成シ次ニ提出スルコトニ決シ「云々斯ウ云フコトニナッテ居リマス、岡田君ハ農務局長ノ言ハレタヤウナコトハ發言シテ居リマセヌ、貴方ガタノ速記録ハドウナッテ居ルカ、中央會ノ速記ハ斯様ニナッテ居ッタ、斯様ナ次第デアッテ、昨日ノ農務局長ノ縷々御答辯ニナッタ手數料問題ニ付テノ對製絲家ノ諒解云々ト云フ言ハ、農務當局殊ニ屬僚諸君ノ極メテ獨斷的ナル者ノ下ニ、斯ウ云フヤウナ大問題ヲ惹起セラレタモノト思フ次第デアリマス、故ニ賢明ナル小山次官ニ於テハ何卒只今丹下君ニ對スル御答辯ヲ御訂正アラセラレテ、全國生絲業者ガ殆ド一致ノ態度ヲ以テ反對致シテ居ル所ノ検査有料問題ニ付テ、十分ナル御反省アランコトヲ此機會ニ於テ希望シテ置ク次第デアリマス

○小山政府委員 只今隅田君カラ御述ベノ點ニ付キマシテハ、私ハ昨日農務局長カラ説明ヲ申上ゲマシタ其説明ハ、過去ノ事實ニ基キマシテ申上ゲタモノデアリマシテ、當局ト致シマシテハ其説明ヲ信ジテ、此説明ニ依テ吾々ノ今回御審議ヲ願フ立法ノ手數料ニ對スル取扱ヲ致シテ居ルノデアリマス、殊ニ先刻申上ゲマシタ製絲業者ニ私ハ反對ガナイト確ク信ズルト、斯ウ申上ゲマシタノニハ根據ガアルノデアリマス、是ハ此内閣ニ始マッタ事デナク、既ニ山本達雄氏ガ農商務大臣デ居ラレタ時分カラ、製絲業者ガ親シク山本農相ヲ御訪ネニナリマシテ、審ニ事情ヲ述ベテ、我國生絲業者ノ將來ノ爲ニ要望セラレタ歴史カラ考ヘマシテモ、又、日米兩國間ノ當業者ノ屢ノ交渉ノ上ニ於テ、相互ニ聲明致シマシタ事カラ考ヘマシテモ、横濱ニ於ケル數百萬圓ノ巨額ヲ投ジテ、彼ノ設備ヲ整ヘマシタ歴史關係カラ考ヘマシテモ、私ハ只今ノ御話ニ付キマシテハ、是等ノ種々ナル事情、關係、經過カラ見マシテ、當業者殊ニ製絲業者ガ此手數料ノ問題ニ反對アリトハ斷ジテ考ヘマセヌ、而モ私共ノ立場カラ申セバ、此法案ヲ提出シテ、諸君ノ審議ヲ煩ハシマスルノハ、一ハ我ガ製絲業ノ現在及將來、之ニ依テ來ル所ノ我ガ輸出貿易ノ對策、之ヲ内ニシテハ製絲業者ノ多年ノ要望デアアル、製絲業者ノ利益擁護ノ爲ニ、唯其間ノ商業取引ニ圓滿ヲ缺キ、偶之ニ依テ我ガ品質ガ傷ケラレルコトノナイヤウニ、吾々ガ製絲業者ノ要望ト製絲業者ノ利益ノ爲ニ、此法案ヲ提出致シテ居ルノデアリマスカラ、其利益ヲ要望シ其利益ヲ圖ラレル立場ノ者ガ、之ニ反對アリトハ考ヘラレマセヌ、私ハ隅田君ノ御意見ニ付キマシテハ承ッテ置キマスガ、私ノ意思ヲ明カニ致シテ置キマス

○石黒政府委員 昨日私ガ生絲検査料徵收ノ點ニ關シマシテ、隅田サンノ御質問ニ對シマシテ申上ゲタコトニ關シテ致シマシテ、只今隅田サンカラ、取調ベテ見タ所ガ、何等根據ナキ陳述デアアル、斯ウ云フ御話ガアリマシタ、ソコデ私ハ一應御聽取ヲ願ッテ置キタイト思フノデアリマス、昨日ノ御質疑ハ、生絲ノ検査ニ付テ有料検査ト爲スト云フコトニ付テハ、何等當業者ニ於テ豫測スル所ノナカッタ問題デアアル、斯ウ云フ御話デアッタノデアリマス、吾々ハソレニ反シテ、正量検査ヲ實施シテ行クト云フ上ニ於テハ、有料トセザルヲ得ナイト云フコトハ、沿革上、當業者モ承知シテ居ラルベキ事デアアルト云フコトノ事例ヲ申上ゲタノデアリマス、大正十一年ノ一月ニ本省ノ會議室ニ於テ行ハレタル蠶絲業同業組合中央會ノ會議ニ於テ、ソレヲ有料トスベシト云フコトニ決マッタトカ、決ラヌトカ云フコトヲ私ハ申上ゲタノデアリマス、昨日私ガ御説明申上ゲテ居ル際ニ、隅田サンハ速記者ノ方カラ字句ノ質問カ何カアッタノデ、其方ニ或ハ御注意ニナッタ爲ニ、御諒解ガナカッタノカト考ヘマスルガ、私ハ此點ニ關シテハ明ニ申上ゲテ居ッタノデアリマス、十一年一日ノ本省ノ會議室ニ於ケル會議ニ付テハ、生絲検査所長ヨリ從來ノ經過ヲ述ベマシテ、正量検査ノ實行ト云フコトニナルト云フト、經費ノ問題ニ行詰ルノデアアル、故ニ検査料ヲ徵スルト云フコトニナラナケレバナラヌト云フコトヲ申シテ、諒解ヲ得ベク努メタト云フコトハ、當時ノ記録ニハ載ッテ居ラヌサウデアリマス、云フコトヲ私ハ申シタ、載ッテ居ルト云フコトヲ申シタノデハアリマセヌ、唯一部分ソレニ關シタルコトハ當時ノ記録ニモ載ッテ居ルサウデアリマス、ト云フコトヲ申シマシタ、ソレハ即チ只今御讀上ニナッタ今井氏ノ報告ガ即チソレデアリマス、此點ニ關シテ昨日私ノ申上ゲタコトニハ、何等ノ間違ハ無イト考ヘルノデア

事情、關係、經過カラ見マシテ、當業者殊ニ製絲業者ガ此手數料ノ問題ニ反對アリトハ斷ジテ考ヘマセヌ、而モ私共ノ立場カラ申セバ、此法案ヲ提出シテ、諸君ノ審議ヲ煩ハシマスルノハ、一ハ我ガ製絲業ノ現在及將來、之ニ依テ來ル所ノ我ガ輸出貿易ノ對策、之ヲ内ニシテハ製絲業者ノ多年ノ要望デアアル、製絲業者ノ利益擁護ノ爲ニ、唯其間ノ商業取引ニ圓滿ヲ缺キ、偶之ニ依テ我ガ品質ガ傷ケラレルコトノナイヤウニ、吾々ガ製絲業者ノ要望ト製絲業者ノ利益ノ爲ニ、此法案ヲ提出致シテ居ルノデアリマスカラ、其利益ヲ要望シ其利益ヲ圖ラレル立場ノ者ガ、之ニ反對アリトハ考ヘラレマセヌ、私ハ隅田君ノ御意見ニ付キマシテハ承ッテ置キマスガ、私ノ意思ヲ明カニ致シテ置キマス

○石黒政府委員 昨日私ガ生絲検査料徵收ノ點ニ關シマシテ、隅田サンノ御質問ニ對シマシテ申上ゲタコトニ關シテ致シマシテ、只今隅田サンカラ、取調ベテ見タ所ガ、何等根據ナキ陳述デアアル、斯ウ云フ御話ガアリマシタ、ソコデ私ハ一應御聽取ヲ願ッテ置キタイト思フノデアリマス、昨日ノ御質疑ハ、生絲ノ検査ニ付テ有料検査ト爲スト云フコトニ付テハ、何等當業者ニ於テ豫測スル所ノナカッタ問題デアアル、斯ウ云フ御話デアッタノデアリマス、吾々ハソレニ反シテ、正量検査ヲ實施シテ行クト云

事情、關係、經過カラ見マシテ、當業者殊ニ製絲業者ガ此手數料ノ問題ニ反對アリトハ斷ジテ考ヘマセヌ、而モ私共ノ立場カラ申セバ、此法案ヲ提出シテ、諸君ノ審議ヲ煩ハシマスルノハ、一ハ我ガ製絲業ノ現在及將來、之ニ依テ來ル所ノ我ガ輸出貿易ノ對策、之ヲ内ニシテハ製絲業者ノ多年ノ要望デアアル、製絲業者ノ利益擁護ノ爲ニ、唯其間ノ商業取引ニ圓滿ヲ缺キ、偶之ニ依テ我ガ品質ガ傷ケラレルコトノナイヤウニ、吾々ガ製絲業者ノ要望ト製絲業者ノ利益ノ爲ニ、此法案ヲ提出致シテ居ルノデアリマスカラ、其利益ヲ要望シ其利益ヲ圖ラレル立場ノ者ガ、之ニ反對アリトハ考ヘラレマセヌ、私ハ隅田君ノ御意見ニ付キマシテハ承ッテ置キマスガ、私ノ意思ヲ明カニ致シテ置キマス

リマス、ソレカラ尙ホ昨日申上ゲタコトニ付キマシテ、昨年五月ニ既ニ正量検査ヲ施行スルト云フコトニナレバ、有料ニシナケレバナラヌト云フコトニ付テ、當業者モスクアルベシト云フ豫期ノ下ニ相談ヲ進メテ居ッタト云フ實證ト致シマシテ、輸出會側カラノ意見ガ既ニ其前提ノ下ニ於テ、此検査手数料ヲ荷主側ニ全部負擔シテ貰ハナケレバナラヌト云フコトヲ條件ノ第三ノ條項トシテ出シテ、岡田源吉氏ヨリ説明シテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、即チ再ビ讀上ゲマスガ、第三番目ニ「正量取引實施ノ爲ニ生スル検査手数料、運送及検査中ノ保險料其他總テノ費用並ニ危險ハ賣手側ノ負擔トスルコト」、斯ウ云フ事項ヲ擧ゲテ居リマス、此説明ヲシテ居ラレルノデアリマス、此會議ニハ只今御話ガアリマシタヤウニ、生絲検査所長ガ現ニ出席シテ居リ、意見ヲ交換シテ居ルノデアリマス、此第三項ノコトハ、検査手数料ト云フモノハ必然的ニ賦課セラレルモノデアアル、故ニソレノ負擔ハ賣手側ト全部負擔シテ呉レロ、製絲家側カラ言ヘバ甚ダ多ノ良イ話ダト云フコトカラ此問題ガ一ツノ問題トナリマシテ、製絲家側ノ意見トシテ第三項ノ費用及危險ノ負擔ハ賣買兩者ノ折半負擔トスベキモノナリト云フヤウナ反對意見ガ出テ、爾來其時カラシテ問題ニナリマシテ、昨日申上ゲタヤウニ第二項ノ委員會ガ

昨年ノ十二月ニ開カレル迄ノ間ト云フモノハ、色々ナ取引條件ニ對スル意見ノ相違カラ開カレナカッタノデアリマスガ、其問題ノ中ノ一ノ事項ニナツテ居ッタ、是ハ當業者ガ既ニ正量取引ト云フコトヲ實行スル以上ハ、有料デアルト云フコトヲ承知シテ居ッテ、ソレヲ前提トシテ居ルカラコソ負擔ノ問題ガヤカマシイコトニナツタト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、屢本會議並ニ委員會デ御引用ニナル輸出商側ノ國庫ノ損失ガ幾何デアルカト云フコトヲ計算致シマシタル「パンフレット」等ノ「パンフレット」ニ依リマシテモ、全部ノ検査料ト云フモノガ強制的ニ検査ヲ受ケテ徵收セラレルモノデアルト云フ前提ノ下ニ、其損失ヲ締上ゲテ計算シテ居ル、ソレヲ八月ニ出版シテ居ルト云フヤウナ事例カラ見マシテモ、既ニ此事ニ付テハ問題ガ當業者ノ頭ニアツテ、ソレヲ如何ニ負擔スルカト云フコトノ、御互ノ間ノ話ガ付キ兼ネテ居ルト云フ事情デアツテ、現ニ本年ノ一月二十六日ノ會議ニ於キマシテモ、矢張検査手数料ノ問題ヲ問題ト致シテ、何レガ負擔スルカト云フコトガ論議セラレテ居ッタ、本年ノ一月二十六日マデ論議セラレテ居ッタノガ、遽然トシテ二月一日以後ノ委員會ニ於キマシテ、問屋並ニ生絲家ノ人達ガ集マリマシタ場合ニ於テ、正量検査ハ手数料ヲ撤廢スルコトト云フコトニ突然ニ變ッタノデア

アリマス、政府ハ從來ノ沿革、從來ノ趨勢、ソレニ依リマシテ豫算ヲ立テ、正量検査ヲ速ニ實施シテ呉レト云フ當業者ノ希望、内外ノ希望、ソレニ依リマシテ、其希望ニ添ウベク豫算ヲ立テ、從來ノ經過通りニシテ來タノニ、二月一日ニ於キマシテ斯ノ如ク正量検査ノ手数料ノ撤廢ヲ期スルコトト云フ決議ヲサレタノデハ甚ダ迷惑デアアル、ソコデ吾吾ハ此點ニ關シマシテハ從來ノ主張ガ俄然變ッタ、斯ウ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、又左様ニ考ヘルコトガ正當デアルト云フ理由ヲ持ッテ居ルノデアリマス、必要デアリマスナラバ更ニ詳細ニ具體的ニ申上ゲマスルガ、此所デハ省略致シテ置キマス、サウ云フヤウナコトデゴザイマスカラ、私ノ申上ゲタ事ニ關シマシテハ決シテ誤リガナイノデアリマシテ、有料トスベシト云フ決議ハ無論アツタト云フコトヲ申上ゲタノデハナイ、是ハ有料ニナルベキモノデアルト云フ豫測ノ下ニ於テ、豫メ承知セラレル下ニ於テ、問題ガ進ンデ來テ居ッタノダト云フ事實ヲ其儘申上ゲタニ過ギナイト云フコトダケヲ、誤解ノナイヤウニ一言申上ゲテ置キマス

○丹下委員 先程本員ノ質問ニ對シテ、小山次官カラ縷々御説明ガアリマシタ、ソレニ付テ私ハ一旦、モウ何度繰返シテモ詮ナイコトト考ヘマシテ打切リマシタガ、隅田君ノ議事進行ニ對スル質問ニ付テ、私ハ尙ホ益諒解ガ出來ナクナツテ參リマシタガ、小山次官ハ正量取引ノ必要ト云フコトヲ力説サレテ居ル、私ハ正量取引ニ付テハ最早已ム得ヌコトデアラウトハ思ヒマス、然ルニ検査料ヲ徵スルト云フコトハ、是ハ別箇ノ問題デアアル、ソレニ付テ非常ナ反對ガアルノヲ政府ハ何ト見テ居ルカト云フコトヲ追窮シテモ、小山次官ハ顧ミテ他ヲ言ッテ居ラレル、而モ當業者間ニサウ云フ反對ガアルト云フコトハ斷ジテ之ヲ認メナイト云フコトヲ力説サレテ居ル、然ルニ今石黒局長ノ説明ニ依リマス、最近ニハ矢張反對ノ意見ガ出テ來タト云フコトヲ述ベラレテ居ルコトヲ見マス、既ニ政府ニ於テモ見解ガ二ツニナル、政府ガ今日生絲業者及輸出業者ガ、殆ド全國一致シテ反對運動ヲシテ居ルコトハ斷ジテ認メナイト云フコトハ何タル迂遠デアラウカト思フ、而モ最近マデハ神戸ノ輸出検査所ヲ利用シテ居ル當業者ニ於キマシテハ、有料検査ヲ希望デハナクシテ、已ムラ得ズ賛成シテ居ッタ方面ノ人モ、最近ニナツテハ矢張検査料ヲ徵スルト云フコトニハ反對ノ意見ヲ持ッテ來タト云フコトデアリマス、隨テ私ハ殆ド全國ノ當業者ガ悉ク之ニ反對シテ居ルト見テ宜カラウト思フノデアリマス、政府ニ於テハ未ダ斷ジテ其反對ガアルコトヲ認メナイト云フコトハ、餘リニ迂遠極マルモノト私ハ斷言シテ置

キマス、更ニ芳賀検査所長ノ御答辯ニ依リマス、約三千萬俵ノ検査デアルノデ、是ガ全部検査所ヘ持込マレルト三十萬圓、出張検査等ヲ合セマス、是ハ豫算ニ何ト出テ居リマス、今記憶致シマセヌガ、四十萬圓ソコソコト思ヒマス、是マデモ是レ位ノ検査料ハ要シテ居ッ、三十萬圓ヤ四十萬圓ノ金ヲ續イテ國庫ガ支辨シテ行クコトガ出来ナイ程、ソレ程窮乏ヲ訴ヘテ居ルノデアラウカ、申ス迄モナク生絲ハ我國ノ輸出貿易ノ大宗デアリマシテ、正量検査ヲ實行スルト云フコトハ、國策上トウシテモヤラナケレバナラヌ必要ナコトデアアルコトハ勿論デアリマス、サレバ三十萬四十萬ノ金ヲ續イテ國庫ガ負擔シテ行ッテ差支ナイト思フ、又當然國庫ガソレダケノコトハヤルベキモノト思フ、ソレガ神戸市ノ經營ニ係ル所ノ検査所ノ——何ト云フ名前ニナッテ居ルカ、神戸市ノ輸出検査所ト申シマスカ、アノ獨立ノ經營ヲ顧慮スル爲ニ、已ムヲ得ズ横濱ノ國立検査所モ検査料ヲ取ラナケレバナラヌト云フコトニナッテ來タノデナカラウカ、ソレヲ伺ヒタイ、若シ果シテ左様デアルトスルナラバ、此神戸検査所ニ對シテ何等カ救済方法ヲ考ヘナイカ、或ハ検査ニ要スル費用ヲ國庫デ補助スルトカ、或ハ國費ニ於テ支辨シテヤルト云フヤウナ、神戸検査所ノ經費ヲ救済スル方法ヲ考ヘテ居ナイカ、ソレヲ御尋致シマス

○小山政府委員 先刻検査手数料ノ事ニ付テ生絲業者ハ反對シテ居マスト私ガ申上ゲタノニ付テハ、私ガ先刻申上ゲタヤウニ、從來ノ經過ニ於テ反對ハナカラウト解釋スル、只今農務局長カラ説明致シマシタ所ニ於テモ、御諒解ヲ願フコトガ出来ヤウト思ヒマス、成程輸出業者ノ一部ノ間ニ反對ガアルト云フコトハ、是ハ事實デアリマス、然ルニ只今申上ゲマシタ所ニ於テハ、反對ガアルトハ私ハ考ヘナイ、唯其負擔ヲ何レガスルカ、輸出業者ト當業者ト問屋ノ間ニ色々相談ヲ致シテ居ッ、タト云フコトハ私ハ聞イテ居ル、而シテ更ニ二月十五日ニ會議ガアッタト云フコトデアリマスガ、此會議モ私ハ權威ノアル會議トハ思ヒマセヌ、而シテ之ニ對シテ検査料ニ付テ彼此レアッタトスレバ、是ハ誤解デアラウ、又從來ノ經過ヲ辨ヘナイコトデアラウト思ヒマス、私ハ今モサウ思ッテ居リマス、是ハ改メテ申上ゲテ置キマス、ソレカラ神戸ノ検査料ニ付テ若シ之ヲ有料ニシナイ場合ニハドウ考ヘテ居ルカト云フ御尋ノヤウデアリマスガ、私共斯様ナ假定ノ將來ノ事ハ考ヘテ居リマセヌ

○丹下委員 是ハ假定デハナイノデアリマシテ、私ノ申上ゲルノハ神戸ノ検査所ノ獨立ヲ圖ル爲ニ、已ムヲ得ズ横濱ノ検査所モ有料ニスルノデハナイカ、果シテサウトスルナラバ神戸ノ検査所ヲ獨立シ得ルヤウニ、他ノ救済方

法ハナイカ、之ヲ假定ト言ハレルノハ甚ダ諒解ニ苦シム譯デアアル

○小山政府委員 横濱ノ生絲検査所ヲ經營スルニ付テ、有料ニシナケレバナラヌト云フ、經費上ノ關係ニ付テハ、先刻他ノ政府委員カラ御説明申上ゲタ通りデアリマス、而シテ神戸ノ検査所ニ付テ政府ガ何等カ検査料ニ付テ救済スルヤウナ別ノ方法ハナイカト云フ御尋デアリマスガ、今日ノ所ソレニ付テ何モ考ヘテ居リマセヌ

○丹下委員 手数料ヲ徵收スルコトニナリマス、延イテハソレガ養蠶業者ニ影響ヲ來シハシナイカト私ハ憂ヘルノデアリマス、即チ今日政府ガ農村振興ノ爲ニ、副業ノ獎勵ト云フ事ニ付テ非常ニ力ヲ入レラレテ居ルコトハ、甚ダ諒トスル所デアリマスガ、養蠶業ハ我が農家ノ副業トシテ最も重要ナ事業デアリマシテ、隨テ政府ガ今日副業獎勵トシテ養蠶ニ力ヲ入レテ居ルガ、生絲ノ検査料ヲ徵收スル結果、ソレガ縱令少額ニシテモ、養蠶業者ニ及ブノデハナイカ、今日生絲生産費ノ状態ヲ見マスルト云フト、約八割許リガ繭ノ代金ニ當リマシテ、二割許リガ總テノ工費ニナッテ居リマス隨テ俄ニ検査料ヲ徵セラルル、結果ハ、製絲業者ガソレダケ負擔スルモノデアラウガ、恐ラクソレハ自然ニ養蠶家ニ及ブモノデアルト思フ、直接養蠶家ニハ影響ハナイガ、自然ニ影響スルモノト思ヒマス、此點ニ

付テ政府如何ナル考慮ヲ拂ハレテ居ルカ、御尋シタイ

○石黒政府委員 只今丹下サンノ御尋ノ點ハ、既ニ昨日問題ニナリマシタモノデ、其節農林大臣カラ詳細ニ御答申上ゲタト記憶致シテ居リマス、茲ニ大體繰返シテ申上ゲマスレバ生絲ノ検査料ガ自然ニ養蠶家ニ轉嫁スルト云フコトノ御意見ハ、必シモ、其全部ガ直ニ養蠶家ニ轉嫁スルモノデアアルヤ否ヤト云フコトハ、吾々疑問ニ考ヘマスガ、併ナガラ假ニ轉嫁セラルルモノト致シマシテモ、製絲家ハ其検査手数料支拂以上ニ正量検査ノ勸行ノ爲ニ莫大ナル利益ヲ得ルモノデアッテ、ソレハ荷掛金トシテ今日買方ニ拂ヒツツアル一俵九十錢ノ慣行ガアル、此點ヲ省略セララルル爲ニ又現在ノ取引慣行ニ於テ一梱毎ニ四分ノ一斤、即チ約四十匁以下ノ端數ト云モノハ、是ハ切り捨テテ受渡ヲナシテ居ル、全然無償デ買方ニ引渡スト云フ甚ダ不利ナル取引慣行ガアル、是等ガ改善セラレルノデ、餘程ノ利益ヲ受ケルノデアリマス、荷掛金ノ廢止ノ結果ダケデモ、既ニ検査手数料ニ近イダケノ利益ニナルノデアアルカラ、必シモ是ハ大ナル負擔ヲ新ニ生ズルモノトハ思ヘナイ利益ノ方ガ多イト吾々ハ見テ居ル、此點ガ製絲業者ガヤカマシク正量検査ノ實行ヲ政府ニ願ッタル大ナル點ノ一ツト考ヘマス、サウ云フ譯デスカラ、必シモ是ガ養蠶家ノ不利益ニ響

クコトハナイト信ジテ居リマス、ソレカラ尙附加ヘテ申上ゲマスガ、検査手數料ノ徴收ノコトハ、是ハ既ニ牛絲檢査事業ヲ改メルトキニハ、獎勵的ノ意味ヲ以テ無手數料ニスルト云フ事モアツタノデアリマスガ、蠶絲業者一般カラ正量取引ノ勵行ヲ迫ラレ、建築費マデモ寄附ヲシテ、其勵行ヲ要望シテ來ル時代ニナツテ、之ヲ行フテ利益ヲ得ル者カラ費用ヲ徴收スルト云フコトハ當然ノ事ト考ヘマス、而モ其經費ハ極メテ輕微ナモノデアリマス、蠶絲業者全體ノ爲ニ色ミナ經費ヲ組ミ其經費ヲ負擔スル上ニ於テ、之ヲ蠶絲業者全體カラ仰グト云フコトハ、比較的容易ナルモノデアルト私ハ信ジテ居リマス

○丹下委員 此正量取引ノ結果、詰リ正量検査實行ノ結果ガ、海外ニ於ケル取引ヲ拘束セヌト云フコトデアリヤウデアリヤウ、是ハ私ハ能ク分リマセヌガ、詰リ海外ニ於ケル取引上更ニ重テ検査ヲスルモノデアルト云フヤウナコトヲ聞クノデアリマス、若シサウ云フコトガアルト、正量検査ヲ致シマシテモ、其效果ト云フモノハ甚ダ少イヤウニ思ヒマス、少クトモ製絲業者ニハ何等ノ利益ヲ與フルコトナクシテ、其中間ニ於ケル輸出業者ガ利益ヲ受ケルト云フヤウナ見解ヲ持ッテ居ル者モアルヤウデアリマスガ、是等ニ付テ、一應政府ノ所見ヲ伺ッテ置キタイ

○小山政府委員 其點ニ付テモ昨日御

尋ガアリマシテ、詳シク御説明申上ゲテアリマス、理想ヲ言ヘバ内地許リデナク海外ニモ及ボシタイモノデアアルガ、併ナガラ先以テ横濱ニ於ケル正量取引ヲ實施シ、次デ海外ニモ及ブモノデアアル、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス其點ハ昨日餘程詳シク申上ゲテアリマスガ、趣旨ハサウデアリマス、理想ヲ申上ゲレバ海外ニモ及ボシタイ、併ナガラ海外ヘハ日本ノ法律ヲ及ボス譯ニ參リマセヌ、協議ノ上デナケレバナラヌト思ヒマス、サウ云フコトニ御諒解ヲ願ヒマス

○丹下委員 海外ニハ及バナイカラ、從テ其検査ノ結果ハ製絲業者ニ對シテ利益ガ少イト云フコトハ、御認ニナツテ居ルノデアリマスカ

○芳賀農林技師 正量取引ガ内國限リデアツタ場合ニハ、其利益ガ製絲業者ニハ及バナイダラウト云フ御尋デアリマスガ、日本ノ製絲業者ハ、横濱ナリ、神戸ナリデ賣買ガ結了スレバ、海外ニマデハ責任ヲ帶ビナイ、責任解除ニナツテシマフノデアリマス、所ガ横濱ナリ神戸ナリデ賣買スルノニ、水分ノ關係カラ非常ニ不利ヲ被ッテ居ル、製絲家ガ多イノデアリマス、其製絲家ガ正量賣買ノ爲ニ正當ニ受クベキモノヲ、正當ニ受ケルコトガ出來ルコトニナルノデアリマスカラ、其結果ガ海外ニ及バナイト云フ故ヲ以テ、日本ノ製絲家ハ何等損害ハナイノデアリマス、但シテ、此正量賣

買ハ日本内地ダケニ局限サレタ問題デナク、海外需要者モ齊シク希望シタノデアリマスカラ、政府トシテハ一時的ノ過渡期ハ已ムヲ得ナイト致シマシテモ、將來ハ成ベク近キ將來ニ於キマシテ、海外ニマデ此正量検査ヲ大體延長致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○丹下委員 次ニ輸出業者ト製絲業者ノ間ニ於ケル關係デアリマスガ、正量検査ノ行ハルル結果トシテ、生絲業者ト輸出業者トノ間ニ於ケル取引上、込目ヲ要求サレルト云フコトガアルサウデアリマス、詰リ一梱ニ付テドレダケカノ目方ハ正量検査ノ爲ニ込目ヲシナケレバナラヌコトガアルト云フ噂ヲ聞イテ居ル、若シ込目ニ應ジナイ場合ニ於テハ其人ノ輸出ヲ阻止サレルト云フ傾ガアルサウデアリマス、ソレガ爲ニ結局不利益ヲ忍ンデモ込目ニ應ジテ行カナケレバナラヌ、從テ製絲業者トシテ著シキ不利益ヲ受ケル結果ニナルト云フコトヲ私ハ聞イテ居ルノデアリマスガ、果シテサウ云フ事柄ガ取引上行ハレテ居ルノデアリマスカ、又之ニ對シテ政府ハドウ云フ考デアリマセウカ

○芳賀農林技師 現在横濱及ビ神戸ニ於テ取引致シテ居ル商習慣ハ水分關係カラ申シマスト、日本ハ一種特別ノ條件ガアルノデアリマス、詰リ今日問題ニナツテ居ル正量目ト、在リ目トノ差ガ、在リ目ノ百分ノ二マデノ水分ハ之

ヲ許ス、サウシテ在リ目デ賣買スルト云フコトガ、現在ノ取引ノ習慣デアリマス、モウ一ツハ衡器デアリマス、衡器ハ秤量二百五十斤掛、感量一斤ノ八分ノ一ノ目盛、即チ二十斤飛ビノ粗イ秤デアリマス、其秤ヲ用ヒテ量ツタ生絲ノ受渡目ハ四分ノ一斤未滿ノ端數ハ切捨計算、即チ四十斤以下ノ端數ハ切捨計算ニナツテ居ルノデアリマス、此點ニ於キマシテ輸出商ハ相當旨味ガアルノデアリマス、水分ノ少イモノハ、ソレダケ目増ヲシテ海外ヘ出ス、其目増ニ對シテハ、コチラデ在リ目百斤ニ買ヘタモノガ百二斤ニ賣レル、或ハ百三斤トシテ向フヘ賣ッテ居リマス、其差ガ利益ニナル、ソレカラ衡器ノ秤量上カラ言ッテ、一秤毎ニ四分ノ一斤以内ノ端金ヲ儲ケテ居ル、斯ウ云フコトニナツテ居ル、併ナガラ此儲ケハ悉ク輸出屋ガ自分ノ懐ヘ入レルノデナク、其一部分ハ商賣ノ愛嬌上カラ盛リヲ好クシテ、海外ヘ賣ッテ居ルト云フ事實ガアルノデアリマス、所ガ正量賣買ニナリマスト、今ノヤウナ旨味ガ全然無クナルト云フコト、又今マデハ商賣ノ愛嬌トシテ幾分盛リヲ好クシテ向フヘ賣ッテ居ッタモノガ、其餘地ガ無クナルト云フコトガ、輸出商ノ最モ苦シム所デアリマス、ソレデアリマスカラ、正量賣買其モノニハ反對ハ致サナイ、初ハ反對致シテ居タノデアリマスガ、此頃ハ正量賣買ニ反對スルコトガナクナツタ、ソレハ異議

ハナイ、但シ輸出商トシテハ商賣上甚
ダ困ルカラ、向フヘ行ッテ愛嬌ノ振撒ケ
ルダケノ量目ヲ貰ヒタイ、又海外へ出
シテ其絲ガ甲ノ所カラ乙、乙カラ丙ト
云フヤウニ轉々スル時分ニハ、検査其
他ノ爲ニ幾分絲ニ切レ目ガ生ズル、其
切レ目ヲ補充スル爲ニ若干餘計ノ絲ヲ
貰ヒタイ、即チソレガ今御尋ニナリマ
シタ込ミ斤ト云フノデアリマス、ソレ
ヲ千斤ニ對シテ五斤位ノ生絲ヲ貰ヒタ
イト云フコトガ、輸出屋カラ出テ居ル
ノデアリマス、詰リ水分ノ關係及ビ衝
器ノ關係カラ、現在輸出商ガ得テ居ル
所ノ利益金ハ、凡ソ私ノ極ク粗イ見積
リデモ、約一千萬圓位アラウト思ヒマ
ス、其一千萬圓ヲ輸出屋ハ拋棄シナケ
レバナラヌノデアリマスカラ、輸出屋
ハ反對ヲシテ居ル、ソレデアリマスカ
ラ、製絲家ト輸出商トノ間ニ於ケル此
利害關係ノ御折衝ハ、宜シク爲サルガ
宜シイ、政府ハソコマデハ容レ千
涉ヲスル考ハ無論ナイノデアリマス、
唯今ノ所色々論議サレテ居ルノハ、ソ
レヲドウ云フ風ニ負擔スルカト云フコ
トデアリマス、其一ツノ條件トシテ、輸
出商ノ方カラハ込ミ斤ト云フコトヲ申
出タノデアリマスガ、ドウモ込ミ斤ト
云フノハ餘リ名目ガ面白クナイト云フ
ノデ、正量検査ヲスル場合ニ、當然検査
上拔取ルノデアリマスカラ、其際ニ千
斤ニ對シテ十本ダケハ見本トシテ吳
レ、ソレカラ品位検査ノ場合ニ、千斤ニ

對シテ五十本ノ絲ヲ検査ニ供スルノデ
アルカラ、其検査ニ供シタモノヲ無償
デ輸出屋ニ貰ヒタイト云フ條件ガ出テ
居リマス、サウスルト正量検査ノ時ノ
十本、品位検査ノ場合ノ千斤ニ對スル
五十本、即チ六十本ダケヲ千斤ニ對シ
テ貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ申出テ居
リマス、ソレハ是マデ込ミ斤ト申シテ
居ッタモノノ變形デアリマス
○丹下委員 モウ一ツデ打切りマス、
施行細則ノ未定稿ニ依リマス、本邦生
産ニアラザル生絲ヲ賣買取引シ、又ハ
輸出セントスルトキニハ、此法ノ適用
ヲ受ケナイヤウデアリマス、ソコデ私
ハ疑義ガ起ッタノデアリマスカラ、例ヘ
バ青島邊リニ本邦人ノ經營シテ居ル製
絲工場ガアルノデアリマスカラ、ソレ等
ガ若シ横濱ニ持ッテ來テ、横濱カラ輸出
致スヤウナ場合ニ於テハ、矢張外國ト
ノ取引ハ、本邦産ノ生絲ト云フコトデ
取引サレルモノト推定ガ出來ルノデア
リマス、果シテ然リトスレバ、同ジ横濱
カラ輸出スルモノデアッテ、一方ハ正量
検査ヲ經テ行キ、一方ハ正量検査ヲ經
スト云フ結果ニナリマシテ、茲ニ甚ダ
検査ノ不徹底、矛盾ト云フコトガ起ッテ
來ルヤウニ思ハレルノデアリマスカラ、
之ニ對シテ政府ノ御意見ハ如何デアリ
マスカ

○膳農林書記官 御答辯申上ゲマス
ガ、只今ノ御質問デハ、青島産ノ生絲ガ
横濱乃至神戸ニ於テ賣買セラレル場合
ニ於テ正量検査ヲシナケレバ不徹底デ
ハナイカト云フ御趣意ノヤウニ承リマ
シタガ、元々此法律ニ依リマシテ、正量
検査ヲ行ハシメントスルノハ、第一番
ノ目的ガ本邦生絲ノ聲價ヲ向上シヤウ
ト云フコトニ存スルノデアリマシテ、
其結果第一ニハ本邦生産ノ生絲ニ付テ
考慮スルノガ順番ト考ヘテ居ル譯デア
リマス、ソレカラ實際ニ於キマシテ、外
國産ノ生絲ガ本邦ヲ經由シテ輸出セラ
レル際ニ於キマシテモ、目下ノ所デハ
關稅ノ關係モアリ、其爲ニ一旦内地ニ
入りマシテ、普通ノ生絲ト同様ニ取引
セラレテ、再び海外ニ出ルト云フコト
ハ、極ク稀ナ場合デアリマシテ、多クノ
場合ハ内地ニ入りマシテモ、或ハ保税
倉庫ト云フヤウナ所ニ一時格納サレ
テ、更ニ輸出セラレルト云フヤウニナ
テ居ルノデアリマス、隨テ實際上ニ於キ
マシテモ、之ヲ強制スルト云フコトノ
必要ハナカラウト思フノデアリマス、
ソコデ斯様ナモノハ除外シテハ如何カ
ト云フ腹案ヲ持ッテ居ルノデアリマス
ガ、勿論是ハ未定稿ノモノデアリマス
カラ、尙ホ此點ハ、私共ノ方デモ確定シ
テ居ルモノデアリマセヌノデ、若シ是
等ノ點ニ付テ尙ホ不適當ノモノガアリ
マスレバ、將來ノ研究事項トシテ攻究
シテモ宜イト思ヒマスガ、只今ノ所デ
ハ是デ差支ナイ見込デ居ル譯デアリマ
ス

○丹下委員 大體今ノ御説明デ分リマ
シタガ、併シ私ハドウモ不徹底ノヤウ
ニ思ハレルノデアリマス、現在統計上
神戸及横濱ヲ經テ再輸出スル所ノソレ
等ノモノノ數量ハ、ドレ位ニナッテ居リ
マスルカ、若シ御分リニナッテ居レバ承
リタイ
○膳農林書記官 只今ノ御質問ノ輸出
ノ數量デアリマスルガ、是ハ尙ホ十分
取調ベマシテ、後ニ申上ゲマスルガ、現
在ニ於テハ多少アリマスケレドモ、只
今輸出統計、輸入統計カラハ、明確ニ
分ッテ居リマセヌ、尙ホ保税倉庫ノ中ニ
在リマシテ、海外ニ出ルモノガ幾ラア
ルカト云フ調査ハ、出來テ居ル筈デア
リマスカラ、他日ノ機會ニ申上ゲタイ
ト思ヒマス
○丹下委員 ソレデ結構デアリマスル
ガ、聞ク所ニ依リマス、矢張サウ云フ
モノハ内地ノ生産ト云フコトニナッテ
取引サレルヤウニ聞イテ居リマスガ、
是ニ付テハ今後施行規則ヲ決定サレル
場合ニ於キマシテハ、十分御研究ヲ願
ヒタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ
御尋致シタイノハ、水分検査ニ使用セ
ラレル所ノ機械、私ハ餘リ詳シクハ知
リマセヌガ、此機械ノ種類ニ依リマシ
テハ、正量ノ算出上ニ非常ニ相違ノア
ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、果シ
テサウ云フヤウナ事實ガアルモノデア
ルカ、若シアルトスレバ、此正量検査ニ
ハ何式々々ト云フヤウニ、式ガ色々ア
リヤウデアリマスガ、其機械ノ式ヲ併

セテ伺ッテ置キマス

○芳賀農林技師 正量検査ノ爲ニ必要ナル機械ト致シマシテハ、第一ガ秤デアリマス、此秤ハ何式ト云フモノハアリマセズガ、兎ニ角製作者ハ大キナ秤ハ東京デハ佐藤製衡所、ソレカラ極ク精密ナル機械ハ守屋ト云フ秤屋ノモノヲ使ッテ居リマス、其式ハ「メトリック・システム」ニ依リマシタモノデ、瓦秤デアリマス、ソレデ原量、即チ在リ目ヲ計リマス、「バランス」ノ秤量ハ九十基、感量ガ十瓦ノモノデアリマス、ソレカラ生絲ノ乾燥ニ使用シマスル乾燥料絲ヲ計ル中、天秤ハ秤量一基、感量五「センチグラム」ノ「バランス」ヲ使ッテ居リマス、ソレカラ第二ニ必要ナルモノハ乾燥機デアリマスガ、是ハ從來ハ佛蘭西製ノモノヲ使ッテ居ッタデアリマス、「タラボ」式ト云フノデアリマス、「タラボ」ト云フ技師ガ工夫シタ乾燥機デアリマス、是ハ石炭ヲ暖爐デ燃シマシテ、熱風ヲ拵ヘテ、之ヲ乾燥機ニ送り込ム装置ノモノデアリマスルガ、今回ハソレヲ採用シナイデ、瑞西ノ製作品デアリマシテ「スタンダー」型ヲ使ッテ居リマス、併シ向フノ製品ヲ其儘使フノデハナク、ソレニ検査所デ多年研究ヲ致シマシタ結果ニ基イテ改造ヲ加ヘマシテ、サウシテ内地デ今回ハ造ラセタモノヲ使用スルコトニナッテ居リマス、是ハ神戸ノ川西ノ工場デ造ラセマシタガ、既ニ検査所ニ納品ニナッテ居リマ

ス、是ハ外國ノ品ニ比較シマシテ、非常ニ精密デモアリ、又操作上非常ニ便利ナ形ニナッテ居ルノデアリマス、大要ハ此位デアリマス、サウシテ只今ノ御質問デハ誤ガアルト云フコトデゴザイマズガ、絲ノ水分ニ多少ノ差ガアルコトハ是ハ事實デアリマス、是ハ乾燥シマス前ニ、原料即チ「ネット」ヲ見テ置ク、サウシテソレヲ今ノ乾燥機ニ螺旋ヲ解イテ掛ケマシテ、籠ノ中ニ入レテ乾燥スルノデアリマス、乾燥機内ノ温度ハ攝氏ノ百四十度ヲ目標ニシテ居ルノデアリマス、今度ノ式ハ熱源ハ電氣デアリマス、ソレデ、ソレニ「ファン」ガ附イテ居リマシテ、電氣デ温ッタ空氣ヲ送込ム装置デアリマス、又舊式乾燥機デアルト三十分ヲ要シタノデアリマスガ、今度ノ機械ニ依ルト二十分デ完全ニ無水量ニナル、其無水量ニナッタカドウカト云フコトヲ定メルノハ、最初乾燥機ノ中ニ入レマシタ絲ヲ、五分間毎ニ目方ヲ量ッテ見ル、ソレハ最初乾燥機ニ入レル前ニ量リマシタ「ネット」ト同量ノ分銅ヲ一方ニ着ケ、一方ニハ絲ヲ下ゲテ置ク、サウスルト水分ガ去ルニ從ッテ絲ガ輕クナリマスカラ、ソレダケ分銅ヲ卸シテ行ク、サウシテ十五分経ッタトキニ、例ヘバ乾カス前ノ目方ガ、五百瓦アタモノガ、十五分後ニ四百五十瓦ニナッタト假定致シマスルト、五百瓦ノ中ニ五十瓦ノ水ガ含マレテ居ッタト云フコトガ分ル、所デ十五分ノトキニ量ッテ

ダケデハ、マダ減ルカモ分ラス、ソコデ今五分間置キ、十五分ノトキノ目方ト差ガナケレバ、ソレガ無水量デアルト判定スル、詰リソレハ十五分ノトキニ無水量ニナッテ居ッタノデアアルケレドモ、果シテソレガ減ルカ減ラヌカラ「チエック」スル爲ニ、モウ五分間置イテ、二十分目ニモウ一度量ッテ見テ、前ト同ジナラ之ヲ無水量ト断定スル、斯様ニ極メテ感量ノ鋭イ秤、而モ其秤量ノ仕方ハ今ノヤウニ十五分トキニ完全ニ乾イテ居テモ、マダ目方ガ變ルカモ知レヌト云フノデ、尙ホ五分間置イテ、變化ガナケレバ、ソコデ無水量ト断定スルヤウナ手續ヲ採ッテ居リマス、故ニ量リ方ニ於テハ全然誤謬ノ生ズル點ハアリマセズ、併ナガ生絲ハ其環境ニ依テ水ヲ吸ッタリ吐イタリスルモノデアリマスカラ、全部ノ絲ヲ乾カサヌ以上ハ、一俵ノ中カラ十二本ヲ抜取り、ソレヲ検査用絲トシテ使フノデアリマス、一俵ハ九千本アリマス、九千本ノ中カラ十二本ヲ取ッテヤルノデアリマスカラ、或ハソレガ一俵全體ノ乾燥量トハ多少ノ差ガアルカモ知レマセズ、ケレドモ是ハ已ムヲ得マセズ、何處デモサウ云フ方法デ検査ヲヤッテ居ルノデアリマス、併ナガラ其一俵、九千本ノ中カラ十二本取ルト云フコトモ、是ハ「プロバビリチ」ノ規則カラ割出シテ、ソレデ全體ノ目方ヲ代表サセテモ、大體誤リガナカラウ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、

右様ノ譯デアリマシテ、乾燥ノ機械モ最モ精密ノモノヲ使ヒ、又乾燥上ニ於キマシテモ十分ナ注意ヲ拂ッテヤッテ居リマスカラ、其點ハ全然誤謬ガナイト信ジテ居リマス

○丹下委員 私人デ大分時間ヲ取リマシタカラ、餘リ長クナリマシテ如何カト存ジ、後ノ機會ニ質問スルコトニ致シマスガ、唯最後ニ尙ホ一言繰返シテ置キタイト思ヒマスノハ、先程モ強ク申上ゲタコトデアリマスガ、今日製絲業者及輸出業者ガ検査料ヲ徴收サレルト云フコトニ付テ、非常ナ反對運動ヲシテ居ル、之ニ對シテ今小山次官ノ御話ニ依ルト、少シモ御考ニナッテ居ナイヤウデアアル、斷ジテサウ云フコトヲ認メナイト云フコトデアリマス、是ハ餘リ強辯ノヤウニ思ヒマス、吾々共ニ對シテ當業者ガ種々ナル訴ヲ致シテ參リマス模様カラ推測致シマス、殆ド全國ノ當業者ハ悉ク之ニ反對シテ居ルト云フコトハ斷言シテ憚ラナイ、仍テ之ニ對シテハ政府ハ極メテ慎重ニ御考慮ニナリマシテ、或ハ此法案ノ改正、即チ手數料ヲ徴收シナイト云フコト、若クハ神戸ノ検査所ニ對シテハ何等カノ方法デモ設ケラレルコトガ必要デヤナイカト思ヒマス、一旦提案シタカラト云フノデ、何處マデモ押通ス、所謂這ッテモ黑豆ト云フヤウナヤリ方デハ、甚ダ面白クナイト思ヒマス、現在ノ當業者ノ空氣、輿論ト云フモノニ少シク耳

ヲ傾ケラレテ、此問題ニ付テ十分御考
慮アラムコトヲ希望シテ私ノ質問ハ一
先ヅ打切ルコトニ致シマス

○折原委員長 次ハ加藤知正君ノ順序
ニナツテ居リマスガ……

○芳賀農林技師 先程ノ御言葉ニ對
シ、屬僚トシテノ責任上カラ一言申上
ゲタイト思ヒマス、先程隅田サンカラ
此検査手数料ヲ徴收スルト云フコト
ハ、屬僚ガ勝手ニ定メタコトデアツテ、
政府責任者ノ與リ知ル所デナイト云フ
ヤウナ御言葉ガアリマシタ、私ハ此問
題ニ付キマシテハ當初ヨリノ直接責任
者デアリマシテ、總テノ方面ノ折衝ニ
モ當ツタ者デアリマス、御案内デモアリ
マセウガ、官吏ニハ官吏服務規律ト云
フモノゴザイマス、私モ農商務省ニ
奉職以來今日マデ滿三十年以上ニ及ン
デ居リマス、此間私ハ誠實ニ此官吏服
務規律ヲ遵奉致シ、上司ノ命ヲ重シト
シテ攷々トシテ働イテ來タ者デアリマ
ス、此手数料ノ問題ノ如キ重ナル事柄
ヲ、自己ノ權域ヲ超エテ、苟且ニモ上司
ヲ蔑ニシテ專恣ノ振舞ヲ爲スガ如キハ、
私トシテハ斷ジテナイコトデアリマ
ス、甚ダ先刻ノ御言葉ハ心外ニ存ズル
ノデアリマス、私ハ此機會ニ於キマシ
テ、斯ノ如キ心外ナル御言葉ヲ聽クコ
トハ甚ダ遺憾ニ存ジマス、私ノヤウナ
微々タル屬僚デアリマスガ、自己ノ名
譽ノ爲ニ此點ハ明カニシテ置キタイト
思ヒマス、又百歩千歩ヲ讓リマシテ、私

ガ專恣ノ振舞ヲ致シタト假定致シマシ
テモ、我ガ上司ハソレデ責任ガ完ウセ
ラレタト云フコトガ言ヘマセウカ、自
己ノ使ツテ居リマス所屬僚ガ、左様ナ專
恣ノ振舞ヲナシタト云フコトヲ、上司ガ
氣付カナカッタ、或ハ知ツテ之ヲ善クス
ルコトヲシナカッタト云フコトニナリ
マシタナラバ、是ハ獨リ屬僚ノ不名譽
バカリデハナイ、上司ニ取ツテハ容易ナ
ラヌ責任問題ダラウト私ハ思ヒマス、
此意味ニ於キマシテ、私ハ其當時親シ
ク上司ノ命ヲ奉ジテ、及バズナガラ此
問題ニ盡力致シタ者ト致シマシテ、上
司ニ右様ナ不名譽、責任ヲ輕シタト
云フヤウナ結論ヲ生ズルヤウナ御言葉
ニ對シマシテハ、私ハ上司ノ名譽ニ對
シテモ一言爲サザルヲ得ヌノデアリマ
ス、此點ニ付キマシテハ明瞭ニ其事實
ヲ御指摘下さいマシテ明リヲ立テラレ
タイト思ヒマス

○隅田委員 只今芳賀君ハ非常ナ御興
奮ノ態度デ丹下君ノ御質問中、検査手
數料ニ對シテ小山政務次官ノ御答辯
ガ、全國ノ製絲家ガ豫テ諒解ガアッタモ
ノノ如クデアツテ、今日全國ノ製絲業者
ガ此手数料ノ制度撤廢ノ爲メ運動ヲ致
シテ居ルト云フコトハ、決シテ全國製
絲業者ノ意思デナイト云フ意味ニ於テ
御答辯ガアリマシタ爲ニ、本員ハ議事
ノ進行上一言致シマシテ、併セテ昨日
ノ農務局長ノ御答辯ト本員ノ質問ニ對
スル御答辯ガ、多少事實ニ相違シテ居

リマシタガ故ニ、本員ハ其事實ヲ列舉
シテ、同時ニ政府ノ反省ヲ求メマシタ
次第デアリマス、ソレニ對シマシテ先
刻農務局長ノ御答辯ガアリマシタガ、
時偶丹下君ノ御質問中デアリマシタ
ガ爲ニ、本員ハ沈黙ヲ致シテ居ッタノデ
アリマス、只今芳賀検査所長ハ本員ガ
屬僚ガ上司ヲ誤ツテ居ルト言ウタ事ニ
對シテ、御興奮ノ御質問ガアリマシタ
ガ、私ハ此検査料ノ問題バカリデハナ
イ、正量検査ノ根柢ニ互テ、或ハ上司
ヲ誤ツテ居ル點ガアルト思ヒマス、斯様
ナ事ヲ申スト議論ニナリマスシ、此點
ハ私ハ、早速農相ノ出席ヲ求メテ質問
ヲ致シタイト存ジマスルガ故ニ、先刻
丹下君ノ質問ニ入ルニ先ツテ委員長
マデ私ハ再質問ノ通告ヲ致シテ居ル次第
デアリマス、故ニ此點ハ今日デモ早速
農相ガ御出席ニナレバ、私ハ明瞭ニ貴
方ガ上司ヲ誤ツテ居ルト云フコトヲ指
摘シテ誤リヲ正シタイトデアリマスケ
レドモ、農林大臣ガ御出席デアリマセ
ヌ故ニ、委員長ヨリシテ出席ヲ求メラ
レテ、御出席ガアリマシタ場合ハ、今日
デモ私ハ明瞭ニ指摘致シマス、委員長
ノ方ニ再質問ノ通告ヲ致シテアル次第
デアリマス、其機會ニ於テ私ハ屬僚ガ
上司ヲ誤ツテ居ルト云フコトヲ具體的
ノ事實ヲ舉ゲルニ付テ、農相ノ出席ヲ
求メテ意見ヲ陳述致シタイト思フ次第
デアリマス、特ニ委員長ニ於カセラレ
マシテハ、農林大臣ノ出席ニ就テ適當

ノ御處置ヲ御取リテ願ヒタイ
○折原委員長 若シ今日御出ニナレナ
ケレバ、貴方ノハマダ質問ノ順序ガア
リマスカラ
○隅田委員 宜シウゴザイマス
○折原委員長 ソレデハ尙ホ大臣ガ今
日御出ニナラレマシタラ御質問ヲ願ヒ
マス、次ハ加藤知正君ノ順序デアリマ
シタガ、志村清右衛門君ト代ルト云フ
コトニ、加藤サン御異存ハアリマセヌ
カ

○加藤(知)委員 ハイ
○折原委員長 志村君
○志村委員 只今手数料ノ問題ガ出テ
居リマスノデ、先輩加藤君ニ御譲リヲ
願ツテ手数料ニ關聯シテ一二御尋致
シタイト思ヒマス、只今マデ先輩諸君
ガ色々御質問ニナリ、又政府カラ御答
ニナツテ居リマスガ、要スルニ當業者ガ
ソレヲ希望シテ居ッタトカ、居ラヌトカ
云フ水掛論デ、政府トシテモ、當業者ガ
自己ノ負擔ヲ増加スルコトヲ好ムベキ
理由モナシ、ソレヲ又真正直ニ當業者
ガ希望シタカラサウデアルト云フコト
ヲ決定的ニ信用ナサルノハ迂濶ナ話
デ、馬鹿ゲタ話デアラウト思フノデ、私
ハ手数料ヲ取ルト云フコトノ根本ニ付
テ一二御尋シタイト思フノデアリマ
ス、只今マデ色々質問應答ノ關係ヲ考
ヘテ見マスト、早速大臣ハ手数料ヲ
取ル強イ理由ハ、特別ノ利益ヲ受クル
者ノ爲ニ要スル費用ヲ、一般國民ノ負

取ル強イ理由ハ、特別ノ利益ヲ受クル
者ノ爲ニ要スル費用ヲ、一般國民ノ負

擔ニ轉嫁スルト云フコトハ最モ是ハ良クナイコトデアアル、此點ニ付テ特ニ強ク御主張ニナツテ居リマシテ、又小山次官ハ今マデ希望検査ノ場合ニ無手数料デアッタノハ、所謂當業者ガ幼稚デアッタカラ、之ヲ保護スル意味ニ於テ手数料ヲ取ラナカッタ、併ナガラ既ニ發達シタ今日ニ於テハ、強制検査ヲシテ手数料ヲ取ルコトガ當然デアルト云フヤウニ御述ニナツテ居リマス、又芳賀所長ハ手数料ヲ取ルコトハ所謂検査所ノ費用ノ全部ヲ支ヘル爲デアルト云フ御意見デアリマシタ、サウシテ石黒局長ノ御意見ノ一端ニハ、特別ノ利益ヲ受クル者ニ其一部ヲ負擔セシメテ、サウシテ之ヲ養蠶家其爲ノ獎勵ニ振向クルニ非常ニ便デアルト云フヤウナ御意見デアアル、只今マデ承リマシタ所デハ、此四ツノ理由ガ主ナルモノヤウニ拜聽致シテ居リマス、ソレニ相違ゴザイマセヌカドウデスカ、一應確メテ置キマス

○小山政府委員 四ツノ點ヲ御舉ゲニナリマシテ、大臣ノ御答申上ゲタノハ、特別ノ利益ヲ受クル者カラ其手数料ヲ取ルノハ當然デアツテ、之ヲ取ラヌトスレバ、其特別ノ利益ヲ受クル者ノ行爲ニ依ル所ノモノヲ、國民ニ強フル國民カラ取ラナケレバナラヌコトニナル、斯ウ云フヤウナ意味デ説明シタガドウカト云フ御話デアリマシタガ、是ハ先日本會議ノ際ニ加藤代議士カラノ御尋ノ場合ニ、大臣カラ、若シ社會的ニ考ヘレ

バ左様ナ意味ニ當ルデヤナイカト云フ御答辯ヲ申上ゲタ、昨日モ左様ナ御尋ニ對シテ大臣カラ御答致シタノデアリマスガ、是ハ誤リガアルト——此問題ノ重要ナル點デアラウト思ヒマスカラ、是ハ直接大臣カラ御答ヲ申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ尙ホ次ニ石黒局長カラ申上ゲタ點ヲ御引例ニナリマシタガ、是モ政府委員デアリマスカラ直接ニ申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ芳賀所長ヨリ説明致シタ點、經費ノ事ニ付テハ私カラ申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、是ハ既ニ大正十五年度豫算ノ御協賛ヲ得マシテ、貴族院ニ目下審議中デアリマス、此豫算ノ中ニモ検査手数料トシテ歳入ノ中ニ計上致シテアリマス、而モ是ハ先刻最初ノ御尋ニ申上ゲマシタヤウニ、從來ノ經過ヲ辿リマシテ、横濱生絲検査所ノ將來ノ取引關係改善ノ爲ニ要シマスル經費ノ中ニ、検査手数料ト云フモノヲ之ニ見込ミマシテ、以テ只今申上ゲタヤウニ十五年度ノ豫算ニ計上シテ居リマスカラ、是ハ先刻芳賀所長ヨリ御説明シタ經費關係ニ相違ナイノデゴザイマス、ソレカラ又我國ノ生絲海外輸出業ノ幼稚ナル時代ニハ、ソレヲ助成シ指導スルガ爲ニ、検査料モ取ツテ居ラナカッタト云フコトヲ申上ゲマシタガ、是ハ私ハ左様ニ解釋シテ居リ

マシ、今日ハ既ニ四十萬俵ニモ達スル、相デ申セバ七十萬俵モ超過シテ居ル、斯様ニ盛ンニナツテ參リマシタガ、尙ホ今後益我貿易上ノ重要ナルモノトシテ其發展ヲ圖ラナケレバナリマセヌガ、今日ハ製絲業ニ關係アル當業者ガ僅ニ検査手数料一圓、出張検査デ一圓六十錢ト云フガ如キ極メテ微々タル經費ノ負擔ニ堪ヘヌトモ考ヘマセヌシ、又今日ハ幼稚ナル時代ト異リマシテ、殊ニ其品質ノ改良其他ニ對シテ十分ニ致スベキ施設ガ多イノデアリマスカラ、今日ニ於テハ此手数料ヲ取ルト云フコトニ於テ、當業者ニ苦痛ハナイト考ヘテ申上ゲタ譯デアリマス

○石黒政府委員 私人申上ゲタ點ハ、検査手数料ヲ取ツテ、ソレヲ養蠶者ノ獎勵保護ノ方面ニ向ケルト云フコトヲ申上ゲタノデハアリマセヌ、丹下サシノ御質問ガ有料検査ニ致スト、自然副業トシテ養蠶ヲ營ンデ居ル農家ニ轉嫁セラレルトコトニナリハセヌカ、斯ウ云フコトヲ御尋ニナッタノニ對シテ、他ニ轉嫁スルモノトハ考ヘラレナイ、他ニ多大ノ利益ガアルト云フコトヲ御答ヲ致シ、且ツ農家ノ副業ヲ獎勵スルト云フコトニ對シマシテモ、検査手数料ヲ無料ニ致シテ、養蠶者ヘノ轉嫁ヲ防イデ獎勵スルト云フコトヨリモ、寧ロ直接利益ヲ受ケル者ニシテ、而モ製絲業ヲ營ンデ居ル人達ニ行クカ、或ハ八億ノ輸出ヲ數軒ニ於テ實行シテ居ルト云フヤウナ大キナ人ニ行クカ、兎モ角モ負擔力ガ農民ヨリモ十分ニアル人ガ直接

ノ利益ヲ受ケルノデアアルカラ、ソレカラ取ルト云フヤウナコトニ致シテ、是等ノ費用ハ此費用ヲ支辨致シ、養蠶者ニ對スル副業、養蠶ノ保護獎勵ト云フコトハ、別ニ獎勵金ヲ交付スルト云フヤウナコトデ獎勵シテ行クベキモノデアラウ、ソレニハ利益ヲ受ケル者カラ取ッタ方ガ、今日財政ノ關係上、獎勵費ヲ取ル關係ニ於テ遣リ宜イト考ヘマスト云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマス、検査料ヲ取ツテ獎勵費ニ當テルト云フ意味デ申シタノデハアリマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス

○早速國務大臣 私貴族院ノ方ニ參ッテ居リマシテ、此方ノ委員會ニハ缺席シテ居ッタノデアリマスガ、手数料ノ問題ニ付テ私カラ昨日申述ベマシタノハ、只今委員長カラ承リマシタノト少シモ變ッテ居リマセヌ、第一ニ此手数料ガ高イデハナイカト云フコトニ對シテハ、私ハアマリ高イ負擔デハナイト繰返シテ申上ゲタノデアリマス、而シテ現ニ製絲家ハ荷掛料ヲ出シテ居ル、今度生絲ノ正量検査ヲ受ケルコトニナレバ、ソレヲ出サナクナルト云フ點カラ見テモ、此手数料ガ非常ニ重イ負擔ニナル譯ハナイト考ヘテ居ルト云フコトヲ、第一ニ申上ゲテ置イタノデアリマス、又先日本會議デ加藤君カラ検査ノ手数料ヲ取ルト云フコトニナルト、此手数料ノ負擔ト云フモノハ養蠶家ニ轉嫁スルノデアアル、是ハ甚ダイカヌデハ

ナイカ、社會政策ノ趣旨ニモ反スルコトニナリハセヌカト云フ意味ノ御尋デアッタト私ハ記憶シテ居リマス、ソレニ對シテ私ガ御答シタノハ、此手數料全部ガ養蠶家ニ轉嫁スルカシナイカト云フコトハ問題デアルケレドモ、假ニ是ガ轉嫁スルトシテモ、ソレハ見ヤウデアアル、若シ此検査手數料ト云フモノヲ取ラナイ、之ヲ取ッテハイケナイト云フコトニナルト、國ノ經費デ此検査所ノ經費ヲ支辨シテ行カナケレバナラヌト云フ結果ニナルカラ、自然ノ結果トシテ國民多數ニ矢張此生絲検査所ノ經費ヲ負擔サセルコトニナル、手數料ヲ取レバ其經費ハ此手數料デ補フノデアリマスカラ、國民ニ負擔ヲセシメナクテモ濟ムト云フ計算ニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、手數料ヲ取ルト云フ場合ニハ、即チ利益ヲ受ケル當業者ガ此手數料ヲ拂フト云フコトニナリ、又ソレガ當然デアラウト思フ、ソレヲ利益ヲ受ケル當業者ガ手數料ヲ拂ハズシテ、其經費ハ國民ガ負擔スルト云フコトニナレバ、其方ガ社會政策ニ反スルト云フ結果ニナリハセヌカト思ヒ、此意味デ御答シタノデアリマス、斯ウ詳シクハ申サナカッタガ、其意味デ御答シタコトハ筆記ニモ載ッテ居リマス、又左様ニ繰返シテ御答ヲ致シテ居リマシテ、今尙ホ私ハ左様ニ信ジテ居ルノデアリマス、若シ検査手數料ヲ取ラナイト云フコトニナレバ、此生絲検査所

ノ經費ト云フモノハ、一般ノ國民ノ負擔ニスルト云フコトニナル、國民ノ負擔ニスルト云フコトハ然ルベカラズ、寧ロ利益ヲ受ケル所ノ當業者ガ手數料トシテソレヲ拂フノガ當然デアラウト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○志村委員 只今御答ヲ頂キマシタ言葉ノ綾ハアリマスガ、又議論ノ見方ニ裏表ハアリマスケレドモ、要スルニ私ノ只今御尋ヲシタコトヲ全部然リト御認メ下スタコトト承知ヲ致シマシタ、ソコデ續イテ御尋シマスガ、特定ノ利益ヲ受クル者ヨリ、其特定ノ施設ヲスル爲ニ要スル費用ノ負擔ヲサセルコトハ當然デアッテ、ソレヲサウセズシテ一設國民ノ負擔ニ俟ツト云フコトハ、總テノ點ヨリ見テ不合理デアアル、是ハ頗ル同感デアリマス、同感デアリマスガ、ソレニ付テ少シク了解ニ苦シム一二ノ點ガアリマスガ、ソレハ横濱對神戸ノ問題デアリマス、神戸ノ現在ノ検査所ハ手數料ヲ取ッテ居ルト云フ話デアリマスガ、ソレハ市デソレ等ノ經費ヲ負擔シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、事實ハ如何デアリマスガ、先ヅ前提トシテソレヲ御尋シタイノデアリマス

○早速國務大臣 神戸ノ検査所ハ全ク神戸市ノ設立ニ係リ、神戸市ガ經營ヲシテ居ル、斯ウ云フノデアリマス、是カラ後此正量検査ヲ行フト云フコトニナリマシテ、此處ニ提案ヲシテアリマス法律ガ通過シタ以後ノ政府ト此神戸ノ

検査所ノ關係ト云フモノハ、是マデヨリモ一層密接ニナル、現ニ法律ニ於テソレヲ認メテ掛カラナケレバナラヌト云フコトガ規定ヲシテアル譯デアリマスカラシテ、是ハ將來ニ於テノ關係ハサウデアリマス、從來ノ關係トシテハ神戸自身ガ經營ヲシテ居ルノデアリマス、神戸ノ將來ノ經營ノ仕方ト云フコトニ付テハ、矢張神戸ノ現在ノ生絲検査所ヲ擴張シテ行ク、擴張ヲシテ行クト云フコトニ付テハ、矢張検査料ハ取ル、斯ウ云フコトニナルデアラウト思ッテ居リマス、ソレデ昨日モ他ノ政府委員カラ申上ゲマシタ通りニ、神戸ノ検査所ガ検査料ヲ取ルト云フコトニナレバ、其検査料ハ國ノ検査所デ取ルノト同シヤウニ、同率同額ニセシムルヤウナ條件デ之ヲ許スト云フコトニシナケレバナラヌ、斯ウ云フコトヲ申シテ置イタノデアリマス、是ハ將來ノ事ヲ只今申シタノデアリマスガ、現在ニ於テハ神戸ハ此検査料ヲ取ラズシテヤッテ居ルモノトシテ——是ハ實ヲ申シマスルト、國ノ検査所ハ今日モ矢張取ッテ居ラス、從來ノヤリ來リノ爲メニ取ッテ居ラス、ソレガ今度正量検査ヲ行フト云フコトニナッテ手數料ヲ取ル、國ノ検査所デ手數料ヲ取ルト云フコトニナレバ、神戸ノ検査所モ取ラナケレバナラヌト云フ、矢張是ハ結果ハ自然サウナ

ルノデアリマス、現在マデハ神戸ノ方ハ検査料ヲ取ッテ居ラヌト云フコトニ

ナッテ居ルノデアリマス

○志村委員 將來國立検査所デ手數料ヲ取ルト云フ場合ニハ、神戸モ同ジ性質ノ検査所デアアルガ故ニ、當然同額ノ手數量ヲ取ラナケレバナラヌト云フコトハ、只今御答ヲ得マシタガ、先程御尋シマシタ所謂特別ノ利益ヲ受クル者ヨリ其負擔ヲサセルト云フ原則ノ上カラ見マシテ、其手數料ヲ取ル場合ニ政府ハ神戸ノ検査所ニ對シテ其手數料ハ検査ヲ受クル者ヨリ取ルベシト云フ命令ガ出シ得ルヤ否ヤ、其點ヲ御伺ヒシマス

○石黒政府委員 此度ノ御審議ヲ願ッテ居リマス 法案ノ第一條ノ二項ニ於テ、國ノ認ムル検査所、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、此主務大臣ガ必要ト認ムル公共團體ノ設クル検査所、之ヲ既ニ検査ヲナサシムル際ニ條件トシテ實行サセルコトニシタイト考ヘテ居リマス

○志村委員 只今ノ御答ハ少シシの外レテ居ルヤウニ思ヒマスガ、私ガ御尋スルノハ斯ウ云フ意味デアリマス、検査ヲ有料ニスルト云フコトハ、是ハ國デ決メタ以上ハ有料ニスルト云フコトニ變リハナイノデアリマスケレドモ、ソレノ直接ノ負擔者、實際ノ検査料ノ負擔者ガ何レニアッテモ、例ヘバ神戸ノ市デソレヲ負擔シテモ、或ハ亦實際ノ受

檢者ガ負擔シテモ、兎ニ角政府ハ形式ガ有料デアルト云フ形式ニ當嵌マルナ

ラバ、ソレデ宜シイノデアアル、然ラズシテ検査ハ斯々ノ理由ニ依テ、斯ノ如キ理由ニ依テ有料トスベキモノデアアルト云フ信念ノ下ニ有料ニシタナラバ、神戸ノ検査所ニ對シテハ必ず受檢者ヨリ其用、手數料ヲ出サシムルト云フコトヲ、實際ニ實行シ得ル御見込ガアルカドウカ、斯ウ云フ意味デアリマス

○石黒政府委員 只今御答申上ダタ通り、實際ニ受檢者カラ徵セシムルト云フ考ヘデアリマス

○志村委員 其次ニ小山次官ニ御尋シマスガ、只今マデハ希望検査ニ對スル受檢手數料ト云フモノハ、當業者ガマダ事業ガ幼稚デアッタ爲ニ、相當ニ保護スベキ必要アリト認メタト云フコトデアリマシタガ、今回強制検査ニシテ既ニ手數料ヲ取ツテモ宜イ所マデ發達シテ居ル、言葉ノ綾ハアリマスケレドモ、サウ云フ趣意デアッタ考ヘテ居リマスガ、併ナガラ強制検査ニスルト云フ御趣意ハ、強制的ニ検査ヲシナケレバ正量検査ニ對シテ統一ガ付カナイ、正量取引ノ效果ヲ舉グルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ御趣意ノ下ニ強制検査ヲ御主張ニナルヤウデアリマスカ、左スレバ所謂當業者ハ、正量取引ニ對シテ頗ルマダ幼稚ナ時代ニ在ルト考ヘラレルノデアリマスガ、幼稚ナ時代デアルトスレバ、手數料ハ取ラヌデモ宜シカラウ、斯ウモ考ヘラレマスシ、又一面カラ強制検査ニシタト云フコトガ、製絲家或

ハ當業者全體ノ利益ノ爲ニ正量取引ニシタノデアアルカ、或ハ日本貿易品ノ首位ヲ占メテ居リマス生絲ノ價值ノ上カラ見テ、所謂日本ノ對外貿易ノ國策上カラ必要ナリトシテ、此強制検査ヲ御施行ニナルノデアアルカ、言換ヘマスル國ノ必要上國策ノ必要上ヨリ之ヲ御施行ニナルノカ、或ハ當業者ダケノ利益ヲ明瞭ニ御答ヲ願ヒタイ

○小山政府委員 只今ノ御尋ニ御答ヲ致シマスガ、先刻モ屢ミ申上ゲマシタヤウニ、マダ我國ノ生絲輸出貿易ガ漸ク十萬相位ノ幼稚時代ニ於テハ、我國ノ海外ニ於ケル生絲ノ聲價ヲ高メ、其品質ヲ改良スルコトガ、當業者ノ爲ニモ利益デアリマス、又國カラ云ツテモ左様ニ致サナケレバナラス、之ヲ指導スル時代デアリマシタカラ、即チ手數料ヲ徵サズニ居ッタノデアリマス、併ナガラ其後大分ノ年ヲ經テ居リマスノデ、私ノ考トシテハ、既ニ今日此手數料ノ問題ガ彼此レ色ニ論議ニナルト云フコトガ、私トシテハ洵ニ生絲貿易ノ現狀カラ見テ如何ナモノデアラウカ、元來最早モット以前ニ此手數料ノ問題ト云フモノハ當然當業者ガ負擔シテモ宜シイ、スベキモノデアルト考ヘテ居ッタノデアリマス、第二ノ御尋ハ國ノ上カラ必要デアアルカ、或ハ當業者ノ上カラ必要デアアルカト云フ御尋ニ歸着スルヤウデアリマスガ、之ヲ國ノ上カラ考ヘマ

スレバ、貿易上重要ナル海外輸出品デアリマス、其聲價ヲ高メル品質ヲ改良スル、世界共通ノ原則トナツテ居リマス、正量取引ト云フコトヲ致スト云フコトハ、固ヨリ國家トシテ大切ナコトデアリマス、此事ハ農林大臣カラ提案ノ理由ヲ説明致シマシタ、其中ニモ明カニナツテ居ルノデアリマス、併シ願ミテ當業者ノ實際ノ横濱ニ於ケル取引上ノ狀態ハ、昨日カラ今日ニ涉リマシテ十分ニ御説明ヲ申上ゲマシタヤウニ、當業者トシテモ今回ノ検査ヲ受ケルト云フコトハ、其利益ガアルノデアリマス、昨日モ御尋ガアリマシタヤウニ、輸出業者カラ見レバ八百萬圓ノ損ガアル、併ナガラ實際ノ製絲業者ノ見地カラ考ヘマスレバ、製絲業者ガ今日マデ失ツテ居ッタモノヲ、此正量検査ニ依テ其八百萬圓——寧ロ一千萬圓ニモ近い利益ヲ製絲業者ガ致スト云フ譯デ、國家ノ爲メ又一ツハ當業者ノ爲メ、相互ニ其利益ガアルモノト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○志村委員 神戸ノ検査所ヲ公共團體ノ生絲検査所トシテ政府ガ御認メニナルノハ、是ハ我國ガ横濱ノ一ツノ國立検査所デハ検査ガ間ニ合ハヌ、所謂検査所ハ一箇所デハ足ラヌト云フ御趣意ノ爲ニ御認ニナルノデアアルカ、或ハ神戸市ガ震災後相當ノ施設ヲシテ、アレマデノ検査所ニシタノデアアルカラ、アレヲ今更廢スルコトハ色々ノ關係ヲ困

難デアアル、大シタ必要ハナイガ一時認メテ置クノデアアル、斯ウ云フ御趣意デアリマスガ、所謂國立主義デ二箇所或ハソレ以上ニモスル御考デアアルガ、其點ヲ御尋致シマス

○石黒委員 神戸ノ生絲輸出ノ狀況ハ中途是ガ廢止ニナツタヤウニ記憶致シテ居リマス、而シテ近時神戸港ヨリシテノ生絲ノ輸出ハ漸次ニ盛シニナリマシテ、昨年ハ既ニ一億四千萬圓ニ達シテ居ルト云フヤウナ事情デアリマス、之ニ對シテノ検査設備モ神戸市ノ經費ヲ以テ十分ニ設備ヲ設ケテ居ルヤウナ次第デアリマス、輸出狀態ガ斯様ナ狀況ニナツテ居リマスシ、且ツ設備ニ付テモ相當完全ナモノヲ設ケテアルト云フ現狀デアリマスカラ、此際ニ於テ國立ノ検査所ヲ設ケルト云フノデアリマスカラ、現在アル私立ノ検査所ニ對シテ、現在輸出ヲシテ居ル狀況ニ適應シタ施設ヲスルナラバ、之ヲシテ正量検査ヲ行ハシメルコトヲ認メルト云フコトニ致シタイト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス

○志村委員 神戸ノ検査所ヲ將來國立ニスル御考ハアリマスカドウデスカ、ソレヲ一ツ御尋シマス、ソレカラ續イテ只今ノ御話デアリマスガ、検査料ヲ

要デアアルカト云フ御尋ニ歸着スルヤウデアリマスガ、之ヲ國ノ上カラ考ヘマ

レヲ今更廢スルコトハ色々ノ關係ヲ困

テ只今ノ御話デアリマスガ、検査料ヲ

取りマシテ其検査所ノ費用ニ充テル、若シ其費用ガ足ラヌ場合ニハ、神戸市ハ當然公共團體ノ所有デアリマスカラ、其公共團體ガ足ラナイ費用ヲ負擔シナケレバナラヌト思ヒマス、サウシマスト云フト、假ニ検査料ヲ以テ其經費ヲ補ッテ餘リアレバ宜シイケレドモ、若シソレガ足ラヌ場合ハ、神戸市デ其費用ヲ補助スルヤウナ場合ハ、先程農林大臣ノ言ハレタ所請特定ノ施設ニ依テ特別ノ利益ヲ受ケル者ノ負擔ヲ、他ノ市民——國民ノ一部デアリマス其市民ニ轉嫁スル結果ニ陥リマスガ、其點ニ對シテ御考ハ如何デアリマス

○早速國務大臣 第一ノ點ノ神戸ノ検査所ヲ國立ノ検査所ニ將來スル考ガ有ルカ無イカト云フコト、是ハ只今ノ所デハ私此席デ明言ヲスル譯ニハ參ラヌノデアリマスガ、前日本會議デ森田君ノ御尋ニナッタノモ、稍其意味ニ近カッタト思フノデアリマス、現在ノ所ニ於キマシテ、國ノ検査所ハ先ヅ一箇所デアッテモ、免ニ角神戸ノ検査所デ相當ノ設備ヲシテヤルト云フコトニナッテ居リマスレバ、其儘デ正量取引スルノモ、輸出ノ貿易ニ當ルニシマシテモ、先ヅ不足ハナイ程度デアアルノデアリマシテ、他日神戸ニ於ケル生絲ノ貿易ト云フモノガ段々伸ビテ行ッテ、今日ノ儘ニ今日ノ儘ト云フヨリモ、今施設セントシテ居ル儘デモ、自然ニ放任シテ置クト云フコトノ出來ナイ狀況ニ

ナッテ、生絲ノ貿易ガ將來ドンナニ伸ビテ行クカト云フコトハ、今此處ニ明言スル譯ニモイカヌノデアリマスガ、左様ナコトハ國ノ經濟上ノ事情ガ許ス場合ニハ、或ハ此國ノ検査所ト云フモノヲ二箇所ニ置クト云フ時期ガ到來スルカモ知レナイ、一ハ財政上ノ都合ニ於テ、國ノ検査所ヲ二箇所ニ設ケルコトヲ許サヌト云フ事情モ確ニアルカモ知レナイ、横濱ノ一ノ検査所デモ、實ハ民間ノ寄附金ニ依テアレガ漸ク成立タト云フ今日ノ關係デアリマス、併ナガラ其事情ガ許スバカリデナク、當然神戸ニ於ケル生絲貿易ト云フモノガ、非常ニ伸ビテ來テ、何トシテモ將來検査所ヲ大ニ擴張シ、内容ノ充實ヲ圖ラナケレバナラヌト云フヤウナ時期ガ到來シタトキハ、別ニ考ヘナケレバナラヌト思ッテ居ルノデアリマス、現在ノ所デハ國ノ検査所ヲ二箇所ニ置クト云フコトハ無論定メテモ居ラヌノデアリマス、私此席デ明言スル譯ニハ參リ兼ルノデアリマス、第二ノ御尋ノ検査料ヲ徵收スル、實際検査料ヲ徵收シテ不足シタ所ノモノハ、或ハ市費ヲ以テ補フト云フヤウナコトガ出來タ場合ニ、ドウスルカト云フ斯ウ云フ御尋デアリマ

ス、サウ云フヤウナ場合ガアッテモ、是ハ仕方ガナカラウト思フ、實ハ國ノ検査所ニ於テモ手數料ヲ取りマスケレドモ、手數料ヲ取ッダケデ検査所ノ經費全部ガスカリ相殺セラレルト云フコトハ、決算ノ場合デナケレバ之ガ相殺サレルト云フコトハ、今明言スルコトハ出來ナイノデアリマス、國ノ検査所ニ於テモ、國ガ經費ヲ取ッテ幾分カ足ラナイト云フコトガアルカモ知レマセヌ、獨リ是ハ神戸ノ検査所ニ於テ手數料ヲ取ルコトニ依ツテ、ソレデ足ラヌトシタ所ガ、別ニ手數料トシテ追徴スルコトモ出來ナイノデアリマスカラ、國トシテモ矢張國ノ出スダケノモノヲ出シテ、其足ラヌ所ハ補フノデアリマシテ、神戸市ニ於テモ左様ナ場合ガアッテモ、矢張是ハ己ムヲ得ヌコトト思フ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○志村委員 只今ノ御答デアリマスト、検査所ノ費用ハ全部手數料ヲ以テ支拂フノデアリ、其手數料ハ検査所ノ費用ノ一部分デアアルカノ如キ御答デアリマスガ、先程芳賀サンノ御答デハ、検査ニ屬スル費用ハ約三十萬圓、斯ウ云フコトヲ御述ニナリマシタガ、検査所デ検査スル總數ハ、所謂日本ノ輸出總數ガ四十萬俵デアリマスガ、ソレハ芳賀君ハ一方ニ三十萬圓ト云フ經費ニ當儀メテ三十萬俵ト仰シヤツタケレドモ、私ハ四十萬圓ガ正確ダト思ヒマス、サウシテ出張検査ガナクテ全部検査所ニ於テ検査スルトシテモ、四十萬圓ノ検査料ガ正確ダト思ヒマス、サレバ之ヲ償ッテ尙ホ餘リアリト私ハ思フノデアリマス、若シ大臣ノ答辯ヲ以テ是ナリトスルナラバ、所謂特定ノ利益ヲ受

クル者ニ、其費用ノ一端ナリ、一部ナリヲ轉嫁スルト云フコトヲ、豫メ御覺悟ニナッテ居ルヤウデアアルガ、其處ニ多少主張ニ矛盾ガアルヤウニ思ヒマスガ、其點ハ如何デアリマスカ

○早速國務大臣 私ノ述方ガ惡カッタカモ知レナイノデアリマスガ、ドウゾ誤解ノナイヤウニ願ヒマス、今ノ國ノ豫算ノ上ニ於テハ支出ト收入トガ相當ルヤウニナッテ居ルノハ事實デアリマス、ソレハ別ニ間違ッテハ居ラヌノデアリマス、私ガ言フ所ハ、決算ノ場合ニ於テ、手數料ノ收入ヲ差引シテ、ソレガ僅ニ二萬圓デモ三萬圓デモ足ラナカッタト云フコトガ出來テ來ルカモ知レヌ、左様ナ場合ニ於テ、私ハ國ノ經營トシテハ國ガ任ジナケレバナラヌト申シタノデアッテ、ソレハ有リ得ルコトデアアル、假令數字ノ上デハ無イヤウニ出來テ居ッテモ、有リ得ルト思フ、將來ニ於テ收入ト支出ガ、キツトリ何ノ違ヒナク行クト云フコトハ、或ハ出來ヌ場合ガアルカモ知レヌト云フコトヲ申シタノデアリマス、丁度其通り、神戸ノ市ニ於テ或ハ其検査料デ足ラナカッタト云フ場合ニハ、多少ノコトヲ市ガ負擔スルト云フ場合ガアッテモ、是ハ差支ナイト思フ、若シサウ云フコトヲ言ヘバ、特定ノ利益ヲ得タモノカラ手數料ヲ取ルト云フ議論ノ土臺ニ相反スルデハナイカト云フ御答ニナルカモ知レマセヌガ、私共ハ大體サウ云フ方針デ進ンデ居

タル者ニ、其費用ノ一端ナリ、一部ナリヲ轉嫁スルト云フコトヲ、豫メ御覺悟ニナッテ居ルヤウデアアルガ、其處ニ多少主張ニ矛盾ガアルヤウニ思ヒマスガ、其點ハ如何デアリマスカ

ル、或ル一部ニ於テサウ云フヤウナ事
ガアルカラト云フコトヲ言ハレマス
ガ、原則トシテ取立テルト云フコトハ
私ハ原則、主義ヲ亂スト云フコトニハ
ナラナカラウト考ヘテ居ルノデアリマ
ス

○芳賀農林技師 先刻私ガ三十萬圓ト
云フコトヲ申上ゲタノハ、是ハ豫算ガ
三十萬圓要ルカラ、三十萬圓ト申シタ
ノデナクシテ、事實生絲検査所ノ確定
ノ目度ヲ三十萬圓ノ検査ヲスルモノト
計算シタ結果申上ゲタノデアリマス、
面シテ其經費ハ生絲検査所全體ノ經費
ニ非ズシテ、正量取引ヲ實行スルニ當
テノ費用ガ三十萬圓トナツテ居ルノデ
アリマス、三十萬圓ニ對シテ三十萬圓
ノ検査費用ガ要ルカラ、一俵一圓ト云
フ手數料ガ出タ、斯様ニ申上ゲタ積リ
デアリマス、金ヲ先ニ見積ッテ三十萬圓
ト云フモノヲ出シタノデナクシテ、最
初三十萬圓ト云フ目安ヲ置イタ結果ガ
サウナツタト御承知ヲ願ヒマス

○志村委員 僅カナ數字ノ問題デスカ
ラ、敢テ深く御尋致シマセスケレドモ、
只今芳賀サンノ御答ニ依リマス、三
十萬圓ト云フ數字ヲ出シタト仰シヤイマ
スケレドモ、サウナレバ出張検査ハ全
然無イト云フコトニナリマスガ、出張
検査ハ初メカラ無イモノトシテノ御計
算デアリマスカ

○芳賀農林技師 出張検査ノコトハ、

是ハ更ニ營業者カラ希望ノ申出ヲ俟チ
マシテ、其經費ヲ豫算ニ組ムコトニナ
テ居リマス、只今ノ豫算ハ出張検査ノ
費用ハ見積ツテ居リマセヌ、若シ出張
検査ノ希望ガアリマスレバ、次年度ニ
於テ之ヲ豫算ニ計上スル、斯ウ云フコ
トニナツテ居リマス

○志村委員 既ニ出張検査ト云フコト
ヲ御認ニナツテ居ル以上ハ——營業者
ノ御意思ヲ非常ニ御尊重爲サツテ居ル
當局者トシテハ、出張検査ガドノ位ア
ルト云フコトヲ、マルッキリ御見込ノナ
イコトハナカラウト思ヒマスガ、其點
ハ如何デアリマスカ

○芳賀農林技師 是ハ全クマダ分ラナ
イノデアリマス、ソレデ正量検査實行
委員會ト云フモノガ設ケテアリマス
ガ、其委員會ノ際ニ出張検査ノ希望ノ
意見ガ出マシテ、ドノ位ノ經費ガ掛カ
ルダラウト云フコトノ御尋ガアリマシ
タガ、恐ラク此位デアラウト云フ位ノ
コトヲ見積ッテ示シタダケデアリマシ
テ、是ハ全クマダ分ラナイノデアリマ
ス

○志村委員 ドウモ斯ウ云フ詰ラナイ
數字デグズ、言フノハ何デスガ、所
長サンノ御話ハ甚ダ諒解ニ苦シムノ
デアリマス、マルッキリ目安ガ付カヌモ
ノナラバ、何故出張検査ヲ一圓六十錢
ト違ヘテ出シテ居リマスカ、出張スル
ニハ此位ノ検査員ガ餘計要ル、ソレニ
ハ是ダケノ費用ガ掛カル、故ニ持込ミ

検査ヨリ一俵ニ付キ六十錢ダケノ差額
ヲ認メナケレバナラヌト云フ、何カ據
所ガナケレバナラヌ管デアリマス、ソ
レガ全ク何等ノ據所モナク唯漠然ト
一圓六十錢ニシタト云フコトハ、先程
アナタガ御答ニナツタコトハ多少違ッテ
居リマス

○芳賀農林技師 是ハ假定的ニ調ベタ
ノデス、即チ現在生絲検査所ニ持込ム
ベキモノヲ、全部出張検査ノ場合ヲ想
像シテ、此經費ヲ見積ツタ譯デ、詰リ全
部出張ノ請求ノアツタ場合ニハドノ位
ノ經費ガ掛カルダラウト云フコトヲ調
ベ、而シテ現在ノ生絲検査所ノ費用ノ
中カラ、全部出張スルト云フコトニナ
レバ、検査所ノソレニ對スル費用ダケ
ハ減ズルノデアリマス、ソレダケハ現
在御協賛ヲ願ッテ居ル豫算ノ中カラ減
ルノデアリマス、サウシテ實際出張ノ
爲ニ要ル經費ヲソレニ加算シマシテ、
割出シタ數ガ一圓六十錢ト云フモノデ
アリマス、所ガドレダケ検査ヲ要求ス
ル者ガアルカハ分ラナイガ、假ニ全部
出張検査ヲ要求シタナラバ、ドレダケ
掛カルカト云フ計算カラ出タモノデア
リマス、サウスルト此豫算ト云フモノ
ハ或ハモウ少シ多クナルカモ知レマセ
ヌ、全部出張ヲ希望スル場合ハ是ダケ
掛カルケレドモ、假令一人、二人アツテ
モ生絲検査所ノ設備ヲ減ラス譯ニハ行
カナイ、ソレダカラ其方カラハ經費ガ
浮イテ來ナイ、全ク出張ヲ希望スル者

ダケノ爲ニ、餘計ノ費用ヲ見積ラナケ
レバナラヌ、現在ノ豫算ノ中カラ減額
スベキモノハ何モナイ、サウスルトソ
レダケハ出張検査ノ爲ニ餘計ナ經費ガ
掛カルノデアリマス、ソレデ請求ガド
ノ位アルカト云フコトハ全ク分ラナイ
ノデアリマス

○志村委員 私ハ能ク分リマセヌガ、
又能ク考ヘテ見マセウ
○村上委員 本日ノ質疑ハ此程度ニ：

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」
○折原委員長 ソレデハ皆様ノ方ニ御
異議ガゴザイマセヌケレバ、今日ハ是
デ閉會致シマス、明後三月一日ノ午前
十時カラ引續キ開會致シマス
午後四時十一分散會

大正十五年二月二十七日

大正十五年二月二十七日印刷

大正十五年二月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社